

M-AUDIO® HAMMER88 PRO

ユーザーガイド

はじめに

同梱物

Hammer 88 Pro 本体	クイックスタートガイド/保証書
譜面台	ユーザーガイド (ダウンロード)
USB ケーブル	
ソフトウェア・ダウンロードカード	

重要: m-audio.com より、Hammer 88 Pro Preset Editor をダウンロードできます。プリセット・エディターは、ハードウェア・インターフェースを使用することなく、Hammer 88 Pro でのコントロールによりコンピューターに送られる様々なメッセージを視覚的、直感的に編集することができます。

サポート

本製品に関する最新情報(システム要件、互換性情報など)や製品登録については、m-audio.com をご覧ください。

その他の製品サポートについては、m-audio.com/support をご覧ください。

セットアップ

接続

Hammer 88 Pro シリーズのキーボードを使い始めるには、機器を接続し、ソフトウェアを正しく設定した上で、キーボードの動作モードを設定する必要があります。

Hammer 88 Proシリーズのキーボードとコンピューターの接続には、付属のUSBケーブルを使用します。ケーブルのUSB-B側をキーボードに、USB-A側をコンピューター(またはコンピューターに接続されたUSBハブ)に接続してください。

注: USB ケーブルはデータを送るだけでなく、キーボードに電源を供給します。USB ハブを使用して複数の USB 製品を同時に接続される場合は、電源付きの USB ハブの使用をお勧めします。

初期設定 – PC の選択

Hammer 88 Proには、DAWのフェーダー、ボタン、ノブ、パッド、お気に入りのDAWショートカット、そしてすべてのバーチャル・インストゥルメントをコントロールする機能があります。これらを使用するためには、まずHammer 88 Proを正しくPCに接続・設定する必要があります。

1. 以下の方法でHammer 88 Proが正しく接続・設定されていることを確認します。これにより、すべてのDAW Shortcutsが正しく動作するようになります。
2. SHIFTボタンを長押しし、MODE/GLOBALボタンを押すとGLOBAL EDITモードに入ります。
3. GLOBAL EDIT メニューで ENCODER を使って『PC』に切り替えます。ENCODERを押して『PC』の選択に入り、OS – WIN/MACのいずれかを選択します。
4. PCの設定を選択した後、BACKボタンを押してGLOBAL EDITメニューを終了します。

初期設定 – DAW セットアップ

正しいOS/オペレーティング・システムを選択した後、Hammer 88 ProをDAWと連動させます。

1. DAW ボタンを長押しして、ディスプレイのDAW Select メニューを開きます。
2. Select/Scroll Encoder を回すと、ディスプレイに表示される DAW が切り替わります。エンコーダーを回すと、現在選択されている DAW がディスプレイに表示されます。ユーザーオプションを使うと、カスタム DAW のコントロールをキーボードにマッピングすることもできます。
3. 使用する DAW が表示されたら、Select/Scroll Encoder を押して選択を確定してください。

注:DAW を変更せずに DAW 選択モードを終了するには Back ボタンを押してください。

ほとんどのDAWはHammer 88 Proシリーズのキーボードを自動的に認識し、DAWモードではHammer 88 Proのコントロールをコントロールサーフェスとして、プリセットモードではバーチャル・インストゥルメントのコントロールとして設定されています。

初期設定 - バーチャルインストゥルメント/プラグイン

適切な OS と DAW を選択したところで、Hammer 88 Pro に付属するすべてのバーチャル・インストゥルメント・プラグインと、お手持ちのその他のバーチャル・インストゥルメント・プラグインが動作するように Hammer 88 Pro を設定します。

1. PRESET ボタンを長押しすると、ディスプレイに PRESET Select メニューが表示されます。
2. Select/Scroll エンコーダーを回して、ディスプレイに表示されるプリセットを循環させます。エンコーダーを回すと、現在選択されているプリセットがディスプレイに表示され、独自のバーチャル・インストゥルメント・プリセットを作成することができます。これについては、「操作」の項を参照してください。
3. ディスプレイに希望のプリセットが表示されたら、Select/Scroll Encoder を押して選択を確定します。

注: 現在選択されているプリセットを変更せずにプリセット選択モードを終了するには、戻るボタンを押してください。

Hammer 88 Pro にはバーチャル・インストゥルメントが同梱されています。(ダウンロード提供) また、Hammer 88 Pro に同梱されていないバーチャル・インストゥルメントも、MPC Beats 上で使用可能です。MPC Beats は、ソフト・シンセ/バーチャル・インストゥルメントのホスト・アプリケーションとして自由に使用することができ、Hammer 88 Pro の全てのコントロールをマッピングすることができます。

初期設定 - ハードウェアシンセ

Hammer 88 Pro シリーズのキーボードをハードウェア・シンセで使用する場合は、キーボードの MIDI 出力ポートとシンセを標準の 5 ピン MIDI ケーブルで接続します。そして、キーボードがカスタム・プリセットの 1 つを選択した状態で動作するように設定されていること（「操作」の項で説明）と、グローバル・セッティングでキーボードが 5 ピンの MIDI アウト・ポートから MIDI データを送信するように設定されていることを確認します。外部のハードウェアシンセを使用するには、アダプターに接続する必要があります。

Hammer 88 Pro では、5 ピンの MIDI 出力からどのようなメッセージを送信するかを選択することができます。接続した PC からのメッセージのみを外部ハードウェア・シンセに送信する場合は USB、Hammer 88 Pro からのメッセージのみを外部ハードウェア・シンセに送信する場合は KEYS、接続した PC とキーボードからのメッセージを外部ハードウェア・シンセに送信する場合は KEYS/USB を選択できます。これらのコントロールを適切に設定するためには、以下の手順で行ってください：

1. SHIFT ボタンを押しながら MODE/GLOBAL ボタンを押すと、GLOBAL EDIT モードに入ります。
2. GLOBAL EDIT メニューでエンコーダーを使って MIDI OUT にスクロールします。MIDI OUT がハイライトされたら、エンコーダーを押して MIDI OUT の選択に入ります。次に、エ

ンコーダーを使って、Hammer 88 Proの5ピンMIDIアウトから送信するメッセージを選択します。

- a. **OFF:** 5ピン出力からメッセージが送信されない。
 - b. **KEYS:** Hammer 88 Proの全てのコントロール、キーおよびパッドからのメッセージは5ピン出力から送信されます。
 - c. **USB:** PC に接続されたHammer 88 ProのMIDI Port 2 で受信したメッセージのみが5ピン出力から送信されます。
 - d. **KEYS/USB:** Hammer 88 ProからのメッセージおよびPC に接続されたHammer 88 ProのMIDI Port 2 で受信したメッセージが5ピン出力から送信されます。
3. **MIDI OUT** 設定を選択した後、**BACK** ボタンを押すと**GLOBAL EDIT** メニューから出ます。

付属ソフトウェアのインストール

m-audio.com にアカウントを作った後、Hammer 88 pro 製品シリアル(21)を使用して製品登録を行い、**Hammer 88 Pro Series Software Manager** をダウンロードしてください。ソフトウェアダウンロードカードの手順に従って、**Hammer 88 Pro Series Software Manager** にアクセスしてください。

DAWおよびVirtual Instruments

Software Manager では、全ての付属ソフトウェアにアクセスすることができます。

Hammer 88 Pro シリーズのキーボードには、3 つの DAW、**MPC Beats**、**Pro Tools | First M-Audio Edition**、および **Ableton Live Lite** が付属しているため、すぐにプロフェッショナルなソフトウェアを使って音楽制作を始めることができます。加えて DAW で使用するための **MPC Beats** のエクスパンションパックのセットおよび **AIR** パーチャルインストゥルメントプラグインが付属しています。

付属の **MPC Beats**、**Pro Tools | First M-Audio Edition**、または **Ableton Live Lite DAW software**、**AIR** パーチャルインストゥルメントプラグイン、および **MPC Beats エクスパンションパック** をダウンロードするには、お手元の Hammer 88 Pro を m-audio.com で製品登録し、**Hammer 88 Pro Series Software Manager** をダウンロードします。**Hammer 88 Pro Series Software Manager** が全ての付属ソフトウェアをダウンロードおよびインストールする方法を順番にガイドします。

Preset Editor

付属の **Preset Editor** ソフトウェアをダウンロードするには、**Hammer 88 Pro Series Software Manager** の指示に従ってください。**Preset Editor** ソフトウェアは Hammer 88 Pro シリーズのキーボードに DAW および Preset のカスタムマッピングをロードするために使用できます。DAW またはプリセットのカスタムマッピングの操作方法の詳細については、次のセクションおよび **操作** のセクションを参照してください。プリセットエディターにはエディターユーザーガイドが用意されています。

MPC Beats

付属の **MPC Beats** ソフトウェアをダウンロードするには、**Hammer 88 Pro Series Software Manager** の指示に従ってください。**MPC Beats** は伝説的な **AKAI Pro MPC** および **MPC2** デスクトップソフトウェアに基づいて設計された直感的に使える DAW で、かつソフトシンセ/パーチャルインストゥルメントのプラグインを含んでいます。素晴らしいビートを作成するのに必要なツールを全て備え、新しいビートメーカーに力を与えます。

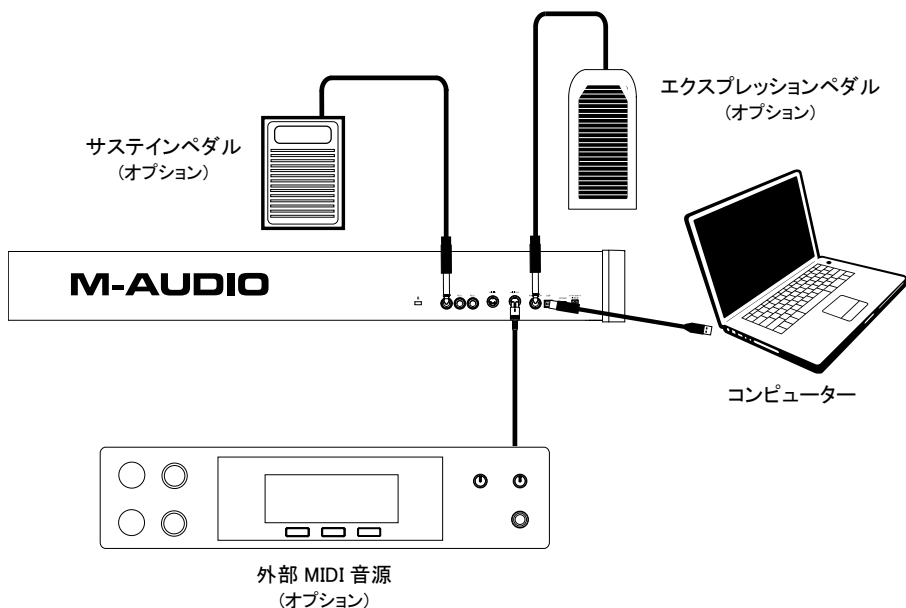
既存の DAW との完全な統合のために、**MPC Beats** は全ての主流の DAW のプラグインとして開くことができます。これによって、**MPC Beats** をソフトシンセ/パーチャルインストゥルメン

トのプラグインとして使用することができ、全てのHammer 88 Proのコントロールをお気に入りのソフトシンセ/バーチャルインストゥルメントプラグインにマッピングさせることができます。

接続図

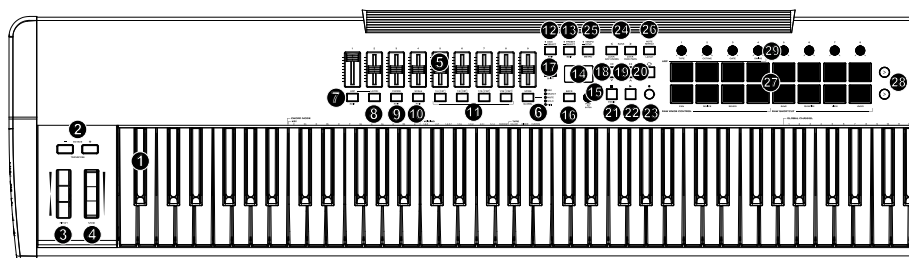
DAW の **Setup**、**Preferences**、または **Options** で Hammer 88 Pro シリーズをコントローラーとして選択するのを忘れないでください。

イントロダクション > **同梱物** に記載のないものは別売りです。



機能

トップパネル



キーボード/オクターブ/ホイール

注: ボタンに表記されている括弧のついた機能名はキーボードコントロールのサブ機能です。サブ機能は、コントロール中に **SHIFT** ボタンを押しながらボタンを押して使用します

1. **キーボード:** ベロシティ対応のキーボードで、MIDIノート情報を送出します。キーボードにはチャンネルアフタータッチ機能も搭載されているので、最初にキーを押した後、キーにさらに圧力を加えることにより、バーチャル・インストゥルメント・プラグインが生成するサウンドに影響を与えることができます。

SHIFTを押しながら**C2-Bb3**キーのどれかを押すと、コードモード設定が編集できます。

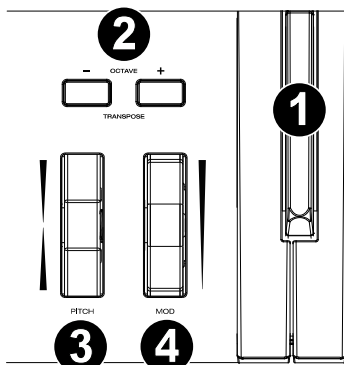
SHIFTを押しながらキー**A5-C7**を押して、グローバルチャンネルを変更します。

2. **OCTAVE +/-:** これらのボタンを使って、キーボードのレンジを上下にシフトします。

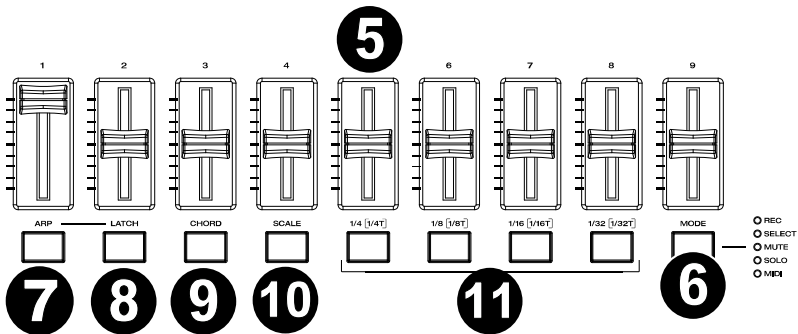
TRANSPOSE: **SHIFT**ボタンを押しながら**OCTAVE**ボタンを押すと、レンジを半音ずつ移動でき、上下合計12半音まで移動が可能です。デフォルトのオクターブから上に4オクターブ、下に3オクターブまで移動が可能です。

キーボードのレンジをデフォルトの位置(キーボード上の**C2-C7**)に戻すには、**Octave -**ボタンと**Octave +**ボタンを同時に押します。

3. **PITCH:** このホイールを操作すれば、演奏中にピッチを上下させることができます。ピッチベンドのレンジはご使用のソフトウェアシンセにより異なります。ピッチベンド・ホイールはスプリング式で、指を離すと通常の位置・音程に戻ります。
4. **MOD (モジュレーション):** このホイールを動かして、連続コントローラーデータ(デフォルトでは MIDI CC #01 (モジュレーション))を送信します。



フェーダー/ボタン



5. **フェーダー (1-9):** フェーダーを上下に動かすと、割り当てたコントロールを操作できます。プリセットまたはDAWを選択して操作する場合、割り当てるコントロールを編集することもできます。
6. **MODE:** MODE ボタン押すと、フェーダー ボタンのサブ機能の一つを有効にできます。

GLOBAL: SHIFT を押しながらモードボタンを押すと、キーボードのグローバル設定メニューにアクセスできます。

DAW モードでキーボードが operate に設定されている場合、使用可能なサブ機能のモードは Rec、Select、Mute、Solo の4つです。これらのモードでは、MODE ボタンは所定の DAW チャンネル上での録音トラックの選択/トラックの選択/ミュート/ソロボタンとして機能します。(詳しくは[操作](#)をご参照ください。)

Preset モードでキーボード が operate に設定されている場合、使用可能なサブ機能のフェーダーボタンは MIDI です。この状態でフェーダーボタンを使用すると、カスタムプリセットで事前に設定されている MIDI コントロールを実行します。

モードボタンの右側にあるLEDは、フェーダーボタンがどのモードにあるかを示しています。

LED Functions:

フェーダーボタンは、デフォルトで表示されている機能が有効になります。

DAW

Off/No LEDs

● **Rec (Red LED):** フェーダーボタンを押すと、そのボタンの現在のチャンネルのレコードアーム MIDI または Mackie/HUI メッセージがアクティブになります。

● **Select (Green LED):** フェーダーボタンは、ボタンの現在のチャンネルのトラックセレクト MIDI または Mackie/HUI メッセージを起動します。

● **Mute (Blue LED):** フェーダーボタンは、ボタンの現在のチャンネルの Mute MIDI または Mackie/HUI メッセージを起動します。

● **Solo (Yellow LED):** フェーダーボタンは、ボタンの現在のチャンネルのソロ MIDI または Mackie/HUI メッセージを起動します。

Plugin/Preset

● **MIDI (White LED):** フェーダーボタンは、ファクトリープリセットの場合は所定の MIDI メッセージを送信し、ユーザープリセットの場合はユーザーが割り当て可能な MIDI メッセージを送信します。

7. **ARP:** このボタンを押すと、アルペジエーターが有効になります。

EDIT: SHIFT ボタンを長押ししながらこのボタンを押すと、アルペジエーターの設定を編集できます。

8. **LATCH:** このボタンを押すと、アルペジエーターの MOMENTARY (トリガー) モードと LATCH (固定) モードを切り替えることができます。

9. **CHORD:** このボタンを押すと、コードモードが有効になります。

EDIT: SHIFT ボタンを長押ししながらこのボタンを押すと、コードモードの設定を編集できます。

10. **SCALE:** このボタンを押すと、スケールモードが有効になります。

EDIT: SHIFT ボタンを長押ししながらこのボタンを押すと、スケールモードの設定を編集できます。

11. **1/4 [1/4T], 1/8 [1/8T], 1/16 [1/16T], 1/32 [1/32T] (Time Division ボタン):** これらのボタンを使用し、ノートリピートおよびアルペジエーター機能のキーボードのタイムディビジョン設定を選択します。ボタンを1つ押すたびに、ボタンの上に表示されている標準タイミングとボタンの下にリストされている3連音符のタイミングが交互に表示されます。赤いLEDは標準のタイミングが選択されていることを示し、LEDの点滅は3連音符のタイミングが選択されていることを示します。

上記の機能について詳しくは[操作](#)をご参照ください。

センターボタン

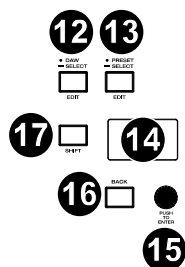
12. ● **DAW ボタン:** Hammer 88 Pro を DAW モードで操作するにはこのボタンを押します。

– **SELECT:** ボタンを長押しすると、ディスプレイに DAW Select メニューが表示されます。

EDIT: Shift ボタンを押しながら DAW ボタンを押すと、ユーザー DAW プリセットの新規作成および編集が可能です。編集が完了し、再度 DAW ボタンを押すと、ユーザー DAW プリセットへの変更点がセーブされます。

ユーザー DAW プリセットのマッピングについて詳しくは[操作](#)をご参照ください。

13. ● **PRESET ボタン:** Hammer 88 Pro を Preset モードで操作するにはこのボタンを押します。



– **SELECT**: ボタンを長押しすると、Preset選択メニューがディスプレイに表示されます。

EDIT: Shiftボタンを押しながらPresetボタンを押すと、プリセットの編集が可能です。

編集が完了し、再度Presetボタンを押すと、プリセットへの変更点がセーブされます。

プリセットのマッピングについて詳しくは**操作**をご参照ください。

14. **ディスプレイ**: ディスプレイ画面には最新の操作内容が表示されます。この画面を使用して、キーボードのコントロールを調整する際のパラメータレベルを確認できます。また、**Scroll/Select**エンコーダーノブでのキーボードの設定も、ディスプレイで内容を確認しながら行えます。

1. **Select/Scrollエンコーダー**: ディスプレイで編集メニューを使用する際、このノブを回して設定/パラメーターを調整します。ノブを押すと、設定内容を決定します。

15. 編集メニューを何も表示していない際は、エンコーダーを回す/押す操作にはそれぞれ別のMIDIコントロール機能が割り当てられている状態になっています。DAWで操作する場合、割り当てられるコントロールは事前に決定されます。プリセットまたはユーザーDAWを選択して操作する場合、エンコーダーを回す/押す操作の割り当ては編集できます。

16. **BACKボタン**: ディスプレイで編集メニューを使用する際、このボタンを押すとメインディスプレイ画面に戻ります。

DELETE: 編集メニューを何も表示していない際は、Backボタン操作にはコントロール機能が割り当てられている状態になっています。DAWで操作する場合、割り当てられるコントロールは事前に決定されます。プリセットまたはユーザーDAWを選択して操作する際は、コントロール機能を編集できます。プリセットまたはDAWの名前を編集する時は、**Shiftボタン**と**Backボタン**を押すと文字を削除できます。

17. **SHIFTボタン**: Shiftボタンを長押ししながらコントロール機能やキーボードのボタンを押すと、各機能のサブ機能にアクセスできます。

18. **<< | ^ ボタン**: DAW上で選択している画面により、開いているソングの「巻き戻しボタン」として機能するか、開いているウィンドウで「下に移動するボタン」として機能します。

19. **>> | ^ ボタン**: DAW上で選択している画面により、開いているソングの「早送りボタン」として機能するか、開いているウィンドウで「上に移動するボタン」として機能します。

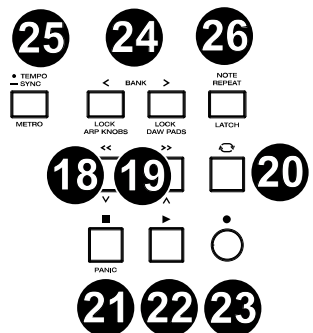
20. **Loopボタン**: このボタンを押し、DAW上でのループ機能を有効/無効に設定します。

21. **Stopボタン**: このボタンを押すと、DAWで開いているソングが停止します。

ダブルクリックすると開いている曲が停止し、再生ヘッドがソングの最初に戻ります。

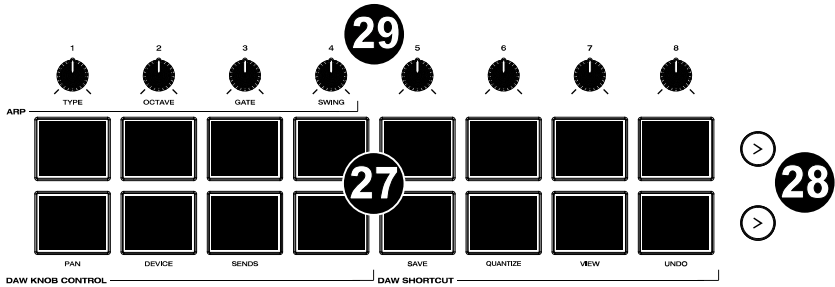
PANIC: Shiftボタンとこのボタンを押すと、MIDIパニックメッセージが送信され、すべてのノートメッセージがオフになり、すべてのコントロールがゼロに戻ります。

22. **Playボタン**: このボタンを押すと、DAWでソングが再生します。



23. ● **Recordボタン**: このボタンを押すと、DAWでソングが再生します。
24. < **BANK** > **ボタン**: DAWモードまたはカスタムプリセットの1つを操作している場合、これらのボタンを使用すると、フェーダー、ノブ、パッド、フェーダーボタンのバンクを切り替えることができます。各コントロールには4つのバンクがあるので、合計36個のフェーダー、32個のノブ、64つのパッドが操作可能となっています。
LOCK ARP KNOBS: Shiftと Bank <ボタンを押すと、Shiftを押しながら使用するARPノブコントロール機能が固定されます。これはライブパフォーマンス中にARPのパラメーターを変更する際に便利です。
LOCK DAW PADS: Shiftと Bank >ボタンを押すと、Shiftを押しながら使用するPadコントロール機能が固定されます。これは曲をミキシングする際に便利です。ノブやパッドを元の状態に戻すには、再度ShiftとBank <かBank >ボタンを押します。
25. ● **TEMPOボタン**: このボタンを押すとHammer 88 Proのテンポを設定できます。
 - **SYNC**: 長押ししてディスプレイのテンポ編集メニューを開き、Select/Scrollエンコーダーノブを使用して手動でテンポを入力し、Hammer 88 ProのテンポをDAWと同期することもできます。テンポの設定はアルペジエーター/ノートリピート機能にも影響します。
 - METRO**: Shiftボタンを長押ししながらTempoボタンを押すと、DAWのメトロノームのON/OFFを切り替えることができます詳しくは[操作](#)をご参照ください。
26. **NOTE REPEATボタン**: このボタンを押すとパッドのノートリピート機能が有効になります。
LATCH: ノートリピート機能をラッチ/ラッチ解除するには、Shiftボタンを長押ししながらNote Repeatボタンを押します。ノートリピート機能がONになっている状態でSelect/Scrollエンコーダーノブを使用すれば、アルペジエーターやノートリピートでのTime Division設定を調節することができます。
ノートリピートについて詳しくは[操作](#)をご参照ください。

パッド/ノブ



27. **パッド (1-16):** プリセットまたはユーザーDAWを使用している際、パッドを使用すれば、MIDIノートON/OFFメッセージの送信したり、その他、アサインされたMIDIコントロールを実行したりできます。

パッド 9-11: Shiftボタンを長押ししながらパッド9-11を押せばノブの機能の再割り当てができます。

パッド 13-16: Shiftボタンを長押ししながらパッド13-16を押せばDAWショートカットを使用できます。(詳しくは[操作](#)をご参照ください。)

28. **Pad Row Play:** このボタンを押すと、対応するパッド列の各パッドに割り当てられているオーディオクリップが再生されます。DAWによって、このボタンの機能は異なる場合があります。
29. **ノブ (1-8):** ノブを左右に回すと、割り当てたコントロールを操作できます。DAWで操作する場合、割り当てられるコントロールは事前に決定されます。プリセットまたはユーザーDAWを選択して操作する場合、割り当てたコントロールを編集できます。

DAWモードで操作する際に、あらかじめ設定されているノブの割り当てを変更する方法について詳しくは[操作](#)をご参照ください。

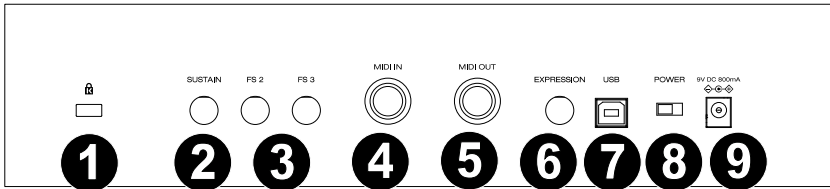
ノブ 1-4: Shiftボタンを長押ししながらノブ1-4を押すと、アルペジエーターの設定を編集集することができます。

アルペジエーターについて詳しくは[キーボード/内蔵機能](#)をご参照ください。

重要: フェーダーとノブはソフトテイクオーバーの対象です。ソフトテイクオーバーとは、バンクを切り替えた際、急激に値が変化しないようにする制御機能です。バンクを切り替えた場合、フェーダーまたはノブは、新しく選択したソフトウェアコントロールの現在の値に配置されるまで機能しません。たとえば、バンク 1 でフェーダー1 の値を上げた状態でバンク 2 に切り替えると、物理フェーダーを使用し、ソフトウェアフェーダー10 の値をバンク 1 で上げた値に上げるまで、物理フェーダー1 での操作はソフトウェアフェーダー10 の値に影響を与えません。この機能により、1 つのバンク、次に新しいバンクのコントロールに不要な変更を加えることなくバンクを切り替えることができます。割り当てられたコントロールを「引き継ぐ」前にフェーダーまたはノブを操作する必要がある場合、ディスプレイには灰色のバリュースケールが表示されます。

重要: Avid Pro Tools では、ステレオトラックは左右 2 つの定位コントロールがあります。
Shift ボタンを押して左右のチャンネルのノブを切り替えます。定位コントロールがモノラルトラックで動かせない場合は、**Shift** ボタンを押して元に戻してください。

リアパネル



1. **Kensington® ロック・スロット:** 盗難防止用の標準的なラップトップスタイルのケンジントンセキュリティケーブルを接続できます。
2. **サステインペダル接続端子:** サステインペダル(別売)の接続する入力端子です。デフォルト設定の状態ではキーを演奏しペダルを踏むと、キーから指を離している間もサステイン効果を得られます。サステインペダルの入力をリマッピングしてカスタムアサインすることも可能です。

注意: サステインペダルを踏みながら Hammer 88 Pro の電源を入れないでください。サステインペダルは Hammer 88 Pro 起動時に OFF の状態だと自動的に認識されるため、踏みながら電源を入れると、挙動が正反対(踏んでいない状態でサステイン効果がかかり、踏むと OFF になる)になってしまいます。

3. **FS 2 / FS 3:** 1/4インチTRSソフトペダル(別売)を接続する入力端子です。M-Audio SP-2などのソフトペダルを使用すれば、打弦距離が短くなり、音がソフトになります。ソフトペダルの入力には、CCメッセージに割り当てることができます。
4. **MIDI入力:** 標準の5ピンDIN MIDIケーブル(別売り)を使用して、このポートをハードウェアシンセやその他のMIDI機器を接続します。このポートに送られたMIDI信号は、USBポートと同様にHammer 88 Proにも送られます。
5. **MIDI出力:** 標準の5ピンDIN MIDIケーブル(別売り)を使用して、このポートをハードウェアシンセまたは他のMIDIデバイスに接続します。

注意: MIDI 出力ポートは、Hammer 88 Pro とコンピューターを接続し、MIDI データを送受信します。詳しくはグローバルメニューをご参照ください。

6. **EXPRESSION:** M-Audio EX-Pなどのエクスプレッションペダルを使用するための1/4インチTRS入力です。M-Audio EX-Pなどのエクスプレッションペダルを使用して、演奏の表現を変化させることができます。M-Audio EX-Pエクスプレッションペダルは、ノーマル・オープン(ペダル・アップ)に設定されています。エクスプレッションペダル入力は、CCメッセージにアサインできます。
7. **USBポート:** コンピュータに接続し、キーボードへの電源供給とMIDIデータの送受信を行います。
8. **POWERスイッチ:** Hammer 88 Proの電源をON/OFFします。
9. **POWER入力:** この入力には、オプションのDC9V、800mAの電源(別売り)を接続することが可能です。Hammer 88 Proをスタンドアロン・モードで使用する場合(外部ハードウェアシンセをトリガーする場合)は、電源を接続する必要があります。Hammer 88

M-AUDIO

Proをコンピューターに接続してソフトウェアシンセをトリガーする場合は、USBケーブルで電源を供給してください。

操作

この章では Hammer 88 Pro シリーズキーボードの特徴について説明します。

基本理念

キーボード

オクターブとトランスポジション

テンポ・コントロール

ノート・リピート/ラッチ・ボタン

プリセット

DAW とプリセット・モード

SHIFT

Back ボタン

エンコーダーとエンコーダー・ボタン

モード LED

アルペジエーターとラッチ・コントロール

スマート・コード・コントロール

スマート・スケール・コントロール

DAW ノブ・コントロール

DAW ショートカット

アルペジエーター・ノブ・コントロール

ゾーン

各項では、このガイドの他の関連する項へのリンクを含んでいるため、そちらも併せてご参照ください。

キーボード

キーボードはアフタータッチ対応のペロシティセンシティブで、10 オクターブにわたり利用可能な 127 の全ての範囲の MIDI ノートにアクセスすることができます。

鍵盤が最初に押された位置よりさらに下がった時に、チャンネルアフタータッチメッセージが有効になります。アフタータッチが呼び出された時には、ピッチやモジュレーション・ホイールを動かした場合と同様に、ディスプレイは現在のアフタータッチの値を表示します。

SHIFT を長押ししながらラベリングされた鍵盤を押すと、素早くコード機能を編集したりグローバルチャンネルを変更することができます。

Octaves and Transposition

Key Octave -/+ ボタンを使用して鍵盤は利用可能な 127 の全ての範囲の MIDI ノート(10 オクターブ)にアクセスすることができます。加えて、上下どちらにもキーボードを 12 半音 (1 オクターブ)まで移調することができます。

キーボードのオクターブを変更するには、**Key Octave -/+** ボタンを使用して、それぞれ上下させてください。**ディスプレイ**は一時的に **OCT** と現在のオクターブ位置を表示します。

キーボードのトランスポジションを変更するには、**Shift** を長押ししてから、**Key Octave -/+** ボタンを使用して、それぞれ上下させてください。**ディスプレイ**は一時的に **TRANS** と現在のトランスポジション(-12 to 12)を表示します。

テンポ・コントロール

テンポを編集するには、Tempo ボタンを押します。一定のテンポで **TEMPO** ボタンを繰り返しタップするか、**TEMPO** ボタンを長押しすることでも **TEMPO EDIT** モードに入ることができます。**TEMPO EDIT** モードに入ったら、エンコーダーを使って利用可能なパラメーター値をスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

Clock Source “CLOCK”: テンポ情報がキーボードの内蔵クロックから送信されるか、外部 DAW にシンクさせるかを選択します。

Available Values: Internal、External

BPM ###: 20.00 – 240.00

BPM .#: .0 – .9

注意: クロックメッセージは Hammer 88 Pro Port 1 (Hammer 88 Pro ##/USB MIDI)で送受信されます。

Note Repeat/Latch ボタン

このボタンを長押しすると、パッドのノート・リピート/ロール機能が有効になります。

SHIFT とこのボタンを一緒に押すと、Note Repeat ボタンの Latch 機能が有効になります。

ノート・リピートが有効な場合、**Select/Scroll** エンコーダーを使用して現在のアルペジエーターとパッドのノート・リピートの Time Division 設定を変更することができます。

- 1/4
- 1/4T
- 1/8
- 1/8T
- 1/16
- 1/16T
- 1/32
- 1/32T

注意: テンポを変更するために、1/4、1/8、1/16 と 1/32 フェーダーボタンを使用することができます。Time Division ボタンの 3 連符機能にアクセスするには、目的の Time Division ボタンを二度押しします。

プリセット

プリセットにはあなたの Hammer 88 Pro の操作子、チャンネル設定、鍵盤のゾーン設定等のアサイン情報を保存できます。Hammer 88 Pro の内蔵メモリには **16 プリセット**まで保持することができ、各バーチャルインストゥルメントやプロジェクト/セッションに対して目的のプリセットを使用することができます。

付属の DAW プリセットと同じく、自身の DAW プリセットを Hammer 88 Pro の内蔵メモリに保持することができ、目的の DAW のためにプリセットを作成して使用することができます。

お手元の Hammer 88 Pro を [m-audio.com](https://www.m-audio.com) で製品登録し、**Hammer 88 Pro Series Software Manager** をダウンロードすることをおすすめします。

Software Manager では、**Preset Editor** を含む全ての付属ソフトウェアにアクセスすることができます。**Preset Editor** ではハードウェアのインターフェースを使用せずに、Hammer 88 Pro の操作子からコンピューターに送信される様々なメッセージを視覚的かつ直感的に編集することができます。**Preset Editor** ではコンピューターでカスタムプリセットをセーブしたりロードしたりすることができます。

プリセットを選択するには、**Preset Mode** で OLED に Preset Selection スクリーンが表示されるまで **PRESET** ボタンを長押しし、**Encoder** をプリセットまでスクロールしてから、**Encoder** を押して目的のプリセットを選択します。

DAW プリセットを選択するには、**DAW** ボタンを長押しし、**Encoder** を DAW プリセットまでスクロールしてから、**Encoder** を押して目的のプリセットを選択します。

重要: プリセットを保存せずに Hammer 88 Pro の電源を切ると、作成したアサインメントや変更は全て失われます。

DAW と Preset モード

Hammer 88 Pro を DAW で使用するためにセットアップしたら、Preset か DAW いずれかのキーボードの操作モードを設定してください。操作モードを選択することによって、DAW の操作子をコントロールする DAW モードと、ソフト・シンセ/バーチャルインストゥルメントをコントロールする Preset モードのどちらを有効にするかを素早く切り替えることができます。

これらの 2 つの操作モードは MIDI キーボードの編集可能な操作子を決定します。

- **DAW:** DAW モードでは、キーボードの操作子はフェーダー、ボタン、ノブ、場合によっては DAW のパッドにマッピングされます。
- **Preset:** Preset モードでは、キーボードの操作子はフェーダー、ボタン、ノブ、選択したバーチャルインストゥルメントのパッドにマッピングされます。キーボードの編集可能な操作子は任意の機能に割り当てることができます。個別のプリセットマッピングの数字が作成され内蔵メモリに保存されるので、後からロードすることができます。

キーボードを DAW モードに設定するには、DAW ボタンを押します。DAW モードを選択すると、ボタンの LED が点灯します。

どの DAW をコントロールするのか設定するには:

1. DAW ボタンを長押ししてディスプレイに DAW セレクトメニューを表示します。
2. Select/Scroll エンコーダーを回して、ディスプレイで利用可能な DAW を切り替えます。エンコーダーを回すと、ディスプレイで現在選択中の DAW が更新されます。User では、**操作**の項で説明されている通り DAW とキーボードのカスタムマッピングを行うことができます。
3. ディスプレイに希望する DAW が表示されている場合は、Select/Scroll エンコーダーを押して選択を確定してください。

注意: 設定を変更せずに DAW モードから出るには、Back ボタンを押してください。

ほとんどの DAW で自動的に Hammer 88 Pro シリーズのキーボードは認識され、Hammer 88 Pro の操作子を自動的に DAW モードのコントロール・サーフェイスとして設定し、またプリセットモードのバーチャルインストゥルメントコントローラーとして設定します。

DAW で自動的に Hammer 88 Pro シリーズのキーボードが認識されない場合は、後述の **Hammer 88 DAW Setup Guides** の手順に従ってください。

キーボードを Preset モードに設定するには、Preset ボタンを押します。Preset ボタンの LED が点灯します。

選択中のプリセットを変更するには:

1. Preset ボタンを長押ししてディスプレイに Preset Select メニューを表示させます。
2. Select/Scroll エンコーダーを回して、ディスプレイで利用可能なプリセットを切り替えます。エンコーダーを回すと、ディスプレイで現在選択中のプリセットが更新されます。
3. ディスプレイに希望するプリセットが表示されている場合は、Select/Scroll エンコーダーを押して選択を確定してください。
- 4.

Hammer 88 Pro 付属の全てのバーチャルインストゥルメントにはプリセットが用意されています。Hammer 88 Pro 付属ではないバーチャルインストゥルメントでは、お気に入りの DAW で MPC Beats をプラグインのラッパーとして、および Hammer 88 Pro の MPC PI プリセットを使用することをおすすめします。MPC Beats はプラグインのラッパーとして全ての主流な DAW で開くことができ、それぞれの DAW の得意分野を統合することができます。これによって、MPC Beats をソフト・シンセ/バーチャル・インストゥルメント・プラグインのラッパーとして使用することができ、Hammer 88 Pro の全ての操作子をお気に入りのソフト・シンセ/バーチャル・インストゥルメントに自動的にマッピングすることができます。

付属の MPC Beats ソフトウェアをダウンロードするには、付属のソフトウェア・ダウンロード・カードの指示に従ってください。

SHIFT ボタン

このボタンを長押しすると、Shift を押しながら使用するキーボードの機能が有効になります。

Back ボタン

キーボードで利用可能ないずれかの編集モードに入っている場合、このボタンで直前のメニューに戻ることができます。編集モードに入っていない場合は、このボタンで DAW モードで別個の MIDI、Mackie もしくは Mackie/HUI メッセージを送信します。PRESET モードでは、プリセット 1-16 が選択されている場合、このボタンで別個のユーザー編集可能な MIDI メッセージを送信します。

ユーザー・プリセットの名前やユーザー DAW の名前を保存する場合、SHIFT を長押ししながらこのボタンを押すと、選択中の文字を削除します。User Preset Name、or User DAW Name。

Encoder と Encoder ボタン

キーボードで利用可能ないずれかの編集モードに入っている場合、このエンコーダーで選択肢を左右にスクロールし、押して決定します。DAW モードでは、このエンコーダーは別個の上/下や左/右のメッセージ (DAW によって異なります) を送信したり確定します。プリセットモードでは、このエンコーダーは DAW のエンコーダーのアサイン内容、プログラムや CC メッセージのいずれかを送信します。

NOTE REPEAT が有効な場合、エンコーダーは **NOTE REPEAT** や **ARP** の Time Division の設定を選択するために使用されます。

モード LED

LED は現在のキーボードのモードによって変化します。Preset および DAW モードでは、フェーダーボタンにシルクスクリーン印刷されたオプションが常に選択可能です。DAW mode では、トラック録音（録音待機）、選択、ミュートやソロと同様に、フェーダーボタンにシルクスクリーン印刷されたオプションが選択可能です。Preset モードでは、ユーザー編集可能な MIDI メッセージと同様に、フェーダーボタンにシルクスクリーン印刷されたオプションが選択可能です。

DAW モード

- **Off/No LEDs:** フェーダーボタンで次の項目を有効にします。
 - ARP On/Off、ARP Edit Enter/Exit
 - ARP Latch On/Off
 - Smart Chord On/Off、Chord Edit Enter/Exit
 - Smart Scale On/Off、Scales Edit Enter/Exit
 - 1/4、1/4T – ARP や Note Repeat メッセージでの Timing 設定
 - 1/8、1/8T – ARP や Note Repeat メッセージでの Timing 設定
 - 1/16、1/16T – ARP や Note Repeat メッセージでの Timing 設定
 - 1/32、1/32T – ARP や Note Repeat メッセージでの Timing 設定
- **Rec/Red LED:** フェーダーボタンは DAW で選択中のチャンネルの MIDI 録音待機、Mackie もしくは Mackie/HUI メッセージを有効化します。
- **Select/Green LED:** フェーダーボタンは DAW で選択中のチャンネルの MIDI 録音待機、Mackie もしくは Mackie/HUI メッセージを有効化します。
- **Mute/Blue LED:** フェーダーボタンは DAW で選択中のチャンネルのソロ MIDI、Mackie もしくは Mackie/HUI メッセージを有効化します。
- **Solo/Yellow LED:** フェーダーボタンは DAW で選択中のチャンネルのソロ MIDI、Mackie もしくは Mackie/HUI メッセージを有効化します。

Preset モード

- **Off/No LEDs:** Fader Buttons will activate the following options:
 - ARP On/Off、ARP Edit Enter/Exit
 - ARP Latch On/Off
 - Chord On/Off、Chord Edit Enter/Exit
 - Scales On/Off、Scales Edit Enter/Exit
 - 1/4、1/4T
 - 1/8、1/8T
 - 1/16、1/16T
 - 1/32、1/32T

- **MIDI/White LED:** フェーダーボタンは工場出荷時のプリセットやユーザープリセットのユーザーアサインブルな MIDI メッセージで、事前に決められた MIDI メッセージを送信します。

ARP and ARP LATCH Control

このボタンを押すとキーボードの内蔵アルペジエーターを有効化します。アルペジエーターの周期は現在の Tempo と Time Division 設定に基づきます (Tempo 設定は Tempo ボタンで編集可能です)。Time Division 設定は **Note Repeat** を長押ししてエンコーダーを回すか、Time Division フェーダーボタン (1/4、1/8、1/16、1/32) のいずれかを押すことでアクセスできます。

ARP Latch 機能を有効にするには、ARP LATCH ボタンを押します。

注意: Arpeggiator を現在のテンポの BPM 設定もしくは外部 MIDI クロックソースのいずれかに同期させることができます。クロックのソースは Preset Edit モードで Tempo ボタンを選択/押すと編集することができます。アルペジエーター機能は DAW、PRESET の 2 つのモードで利用可能です。

Smart Chord コントロール

このボタンを押すと、キーボードの内蔵 Smart Chord 機能が有効になります。Smart Chord 機能は演奏された鍵盤やパッドによって、コードのルートノート (根音) が決まり、演奏されるコードの種類は **GLOBAL SETTINGS** メニューの設定によって変わります。Smart Chord モードが有効な場合、鍵盤を単音で弾くと Smart Chord Edit で選択中のコードを演奏します。この機能は DAW、PRESET の 2 つのモードで利用可能です。

Smart Scale コントロール

このボタンを押すと、キーボードの内蔵 Smart Scale 機能が有効になります。Smart Scale Edit メニューで選択中の Smart Scale の設定に基づき、現在のスケールが決まります。Smart Scale 機能はキーボードで弾いた音に対してのみ機能します。Smart Scale モードが有効な場合、選択中のキーとスケール設定の音のみを鳴らします。この機能は DAW、PRESET の 2 つのモードで利用可能です。

DAW ノブコントロール

SHIFT ボタンとパッド 9-1 を使用して、DAW モードでノブの機能を変更することができます。

DAW モード

- **Volume:** DAW で選択したチャンネルのフェーダーをノブで操作できます。
- **Pan:** DAW で選択したチャンネルの定位をノブで操作できます。
- **Device:** DAW で選択したチャンネルのプラグイン・コントロールをノブで操作できます。

注意: 全ての DAW がデバイス・コントロールをサポートしているわけではありません。

- **Sends:** DAW で選択したチャンネルのセンド・コントロールをノブで操作できます。

注意: 全ての DAW がセンド・コントロールをサポートしているわけではありません。

DAW ショートカット

SHIFT ボタンと TEMPO/METRO およびパッド 13-16 を使用して、DAW ショートカット/ホット・キーのメッセージを送信することができます。

- **METRO (Metronome):** DAW のトラックでメトロノーム/クリックをオン/オフにする ASCII ショートカット・メッセージを送信します。
- **Save:** DAW で開いているファイルへの変更をセーブする ASCII ショートカット・メッセージを送信します。
- **Quantize:** DAW で選択されているオーディオリージョンをクオンタイズする ASCII ショートカット・メッセージを送信します。
- **View:** DAW のさまざまなウィンドウ(ミックス画面/編集画面など)を切り替える ASCII ショートカット・メッセージを送信します。

注意: いくつかの DAW はウィンドウをオープンにした状態でないと正常に機能しない可能性があります。ウィンドウの最大化と最小化を切り替えます。

注意: いくつかの DAW は追加の View コントロールをサポートしています。Clip Play ボタンを押すと追加のビュー・コントロールが提示されます。

- **Undo:** DAW 上でのファイルの最後の変更点を元に戻す ASCII ショートカット・メッセージを送信します。

注意: DAW ショートカットは SHIFT と BANK >を押して、固定・固定解除を常に有効にすることができます。

ARP ノブコントロール

SHIFT ボタンとノブ 1-4 を使用して、アルペジエーターをコントロールするノブの機能を変更することができます。

Arp ノブ・コントロール

- **Type:** アルペジエーターで演奏されるノートの順番を変更します。

- **Octave:** アルペジエーターのオクターブレンジを変更します。
- **Gate:** アルペジエーターのノートの長さを変更します。
- **Swing:** アルペジエーターのテンポがどのくらいスウィングするかを変更します。

注意: ARP ノブコントロールは **SHIFT** と **BANK** ぐを押して、固定・固定解除を常に有効にすることができます。

ゾーン

Hammer 88 Pro の **鍵盤**は 1-4 つの“ゾーン”に分割することができます。ゾーンが有効な場合、各ゾーンはその操作子の MIDI メッセージを自身の MIDI チャンネルから送信することができます。Preset Edit モード時のみ、鍵盤/ゾーンにパラメーターを割り当てることができます。

ヒント: この機能を使って、異なるバーチャルインストゥルメントやシンセサイザー用に鍵盤を分割することができます。例えば、2 つのゾーンを作成し、それぞれで異なる MIDI チャンネルを使用すれば、半分ずつの鍵盤で 2 つのバーチャルインストゥルメントを同時に演奏してコントロールすることができます。

- **Enabled:** 関連する機能をオンやオフにします。
- **First:** この音がゾーンの最も低いキーになります。
- **Last:** この音がゾーンの最も高いキーになります。
- **Octave:** ゾーン内のキーはこのオクターブシフト(鍵盤の元の位置から)を使用してノート情報を送信します。

注意: ゾーンのオクターブやトランスポジションはキーボード全体のオクターブやトランスポジションからは独立していますが、これらの全ては鍵盤から送信されるノートに影響します。

- **Transpose:** ゾーン内のキーはこのトランスポジション(鍵盤の元の位置から)を使用してノート情報を送信します。

注意: ゾーンのオクターブやトランスポジションはキーボード全体のオクターブやトランスポジションからは独立していますが、これらの全ては鍵盤から送信されるノートに影響します。

- **Program:** ゾーン内のキーを押すと、このプログラムナンバーを送信します。
- **MSB:** ゾーン内のキーを押すと、Bank セレクトの MSB (Most Significant Byte) ナンバーを送信します。
- **LSB:** ゾーン内のキーを押すと、Bank セレクトの LSB (Least Significant Byte) ナンバーを送信します。
- **Chan:** ゾーンはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバル・チャンネル (Global) か、特定のチャンネル (**Channel 1-16**) を選択してください。

注意: このゾーンに **Channel** が設定された他のいずれの操作子も、同様にこのチャンネルを使用してメッセージを送信します。

Preset Edit モード

SHIFT を長押ししながら PRESET ボタンを押すと、Preset 編集モードに入ります。

編集されるデフォルトのパラメーターは選択中のプリセットのピッチホイールの割り当てです。他の操作子(例えばノブ 1)を動かしたり、押したりすると、その操作子の編集が有効になります。

Preset の保存

Preset を保存するには:

1. SHIFT と Preset ボタンを押して Edit モードに入ります。
2. **Preset Edit Mode** の項の記述に従い、操作子を編集します。
3. Preset ボタンを押します。
4. 下記の利用可能な選択肢とともに、ディスプレイに“SAVE?”と表示されます。
 - **Cancel:** Cancel に“Yes”を選択すると、全ての変更は破棄されます。
 - **Replace:** Replace に“Yes”を選択すると、選択中のプリセットを上書きします。
 - **Save As:** Save As に“Yes”を選択すると、プリセットの“LOCATION”をどのナンバーにするか、“NAME”をどの名前にするかを編集/変更できます。Save As 画面の最後で Save. が選択可能です。Save 画面で“Yes”を押すと、新しいプリセットが保存されます。

注意: プリセット名を編集する時は、エンコーダーで編集したい文字をスクロールしてから、エンコーダーを押して目的の文字を選択してください。プリセット名の文字を削除するには、SHIFT と Back ボタンを押します。

Channel 設定

Channel:

GLOBAL SETTING メニューでアサインされたグローバルチャンネル(Global)、特定のチャンネル(Channel 1-16)、ゾーン(Zone 1-4)、もしくは全てのチャンネル(Omni)を選択します。

- **Global:** グローバル MIDI チャンネルで送信します。グローバル MIDI チャンネルは GLOBAL EDIT SETTINGS メニューでアサインされます。
- **Channel 1-16:** 特定の MIDI チャンネルで送信します。
- **Zone 1 - 4:** Zone にアサインされたチャンネルで送信します。これによって、鍵盤を 4 つのゾーンに分割することができ、特定のゾーンのみに影響する異なる操作子を使用することができます。
- **Omni:** 全ての MIDI チャンネルで送信します。これによって、鍵盤を 4 つのゾーンに分割することができ、1 つの操作子で 4 つ全てのゾーンをコントロールすることができます。例えば、ピッチやモジュレーション・ホイールを複数の異なるゾーンで機能させることができます。

Preset Control の編集

ピッチ・ホイール

Preset Edit モードでピッチ・ホイールを編集するには、ピッチ・ホイールを動かします。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーター値をスクロールすることができます。エンコーダーを押して、編集したいパラメーターを選択します。

Channel: ピッチ・ホイールはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル(Global)、特定のチャンネル(Channel 1-16)、ゾーン(Zone 1-4)、もしくは全てのチャンネル(Omni)を選択します。

Available Values: Global, 1-16, Zone 1-4, Omni

Minimum Value: ホイールの最小位置がこの値に対応します。この値を **Maximum** より大きな値に設定するとホイールの極性を逆転させることができます。

Available Values: 0-127

Maximum Value: ホイールの最大位置がこの値に対応します。この値を **Minimum** より小さな値に設定するとホイールの極性を逆転させることができます。

Available Values: 0-127

モジュレーション・ホイール

Preset Edit モードでモジュレーション・ホイールを編集するには、モジュレーション・ホイールを動かします。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーター値をスクロールすることができます。エンコーダーを押して、編集したいパラメーターを選択します。

Channel: モジュレーション・ホイールはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル(Global)、特定のチャンネル(Channel 1-16)、ゾーン(Zone 1-4)、もしくは全てのチャンネル(Omni)を選択します。

Available Values: Global, 1-16, Zone 1-4, Omni

CC: モジュレーション・ホイールはこの CC ナンバーで MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Minimum Value: ホイールの最小位置がこの値に対応します。この値を **Maximum** より大きな値に設定するとホイールの極性を逆転させることができます。

Available Values: 0-127

M-AUDIO

Maximum Value: ホイールの最大位置がこの値に対応します。この値を **Minimum** より小さな値に設定するとホイールの極性を逆転させることができます。

Available Values: 0-127

鍵盤

Preset Edit モードで Hammer 88 Pro のゾーンやアフタータッチの割り当てを編集するにはキーボードの鍵盤を押します。エンコーダーを使用して、利用可能な値をスクロールすることができます。エンコーダーを押して、編集したいパラメーターを選択します。

Zones:

Hammer 88 Pro の鍵盤は 1-4 つの“ゾーン”に分割することができます。ゾーンが有効な場合、各ゾーンはその操作子の MIDI メッセージを自身の MIDI チャンネルから送信することができます。Preset Edit モード時のみ、鍵盤/ゾーンにパラメーターを割り当てることができます。

ヒント: この機能を使って、異なるバーチャルインストゥルメントやシンセサイザー用に鍵盤を分割することができます。例えば、2 つのゾーンを作成し、それぞれで異なる MIDI チャンネルを使用すれば、半分ずつの鍵盤で 2 つのバーチャルインストゥルメントを同時に演奏してコントロールすることができます。

- **Enabled:** 関連する機能をオンやオフにします。
- **First:** この音がゾーンの最も低いキーになります。
- **Last:** この音がゾーンの最も高いキーになります。

注意: Zone Edit モードで First もしくは Last のノートが選択された場合、鍵盤のキーを押してもう一方の First もしくは Last のノートを選択することができます。これによって、エンコーダーを使用することなく、素早く選択を行うことができます。

- **Octave:** ゾーン内のキーはこのオクターブシフト(鍵盤の元の位置から)を使用してノート情報を送信します。

注意: ゾーンのオクターブやトランスポジションはキーボード全体のオクターブやトランスポジションからは独立していますが、これらの全ては鍵盤から送信されるノートに影響します。

- **Transpose:** ゾーン内のキーはこのトランスポジション(鍵盤の元の位置から)を使用してノート情報を送信します。

注意: ゾーンのオクターブやトランスポジションはキーボード全体のオクターブやトランスポジションからは独立していますが、これらの全ては鍵盤から送信されるノートに影響します。

- **Program:** ゾーン内のキーを押すと、このプログラム・ナンバーを送信します。
- **MSB:** ゾーン内のキーを押すと、Bank セレクトの MSB (Most Significant Byte) ・ナンバーを送信します。
- **LSB:** ゾーン内のキーを押すと、Bank セレクトの LSB (Least Significant Byte) ・ナンバーを送信します。

- **Chan:** ゾーンはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバル・チャンネル (Global) か、特定のチャンネル (Channel 1-16) を選択してください。

注意: このゾーンに Channel が設定された他のいずれの操作子も、同様にこのチャンネルを使用してメッセージを送信します。

Aftertouch:

- **Chan:** アフタータッチはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global)、特定のチャンネル (Channel 1-16)、ゾーン (Zone 1-4)、もしくは全てのチャンネル (Omni) を選択します。
- **Min:** レンジ内で演奏される最も低いノートがこの値に対応します。
- **Max:** レンジ内で演奏される最も高いノートがこの値に対応します。

フェーダー

Preset Edit モードでフェーダーのコントロールを編集するには、フェーダーを動かします。エンコーダーを使用して、利用可能な値をスクロールすることができます。エンコーダーを押して、編集したいパラメーターを選択します。

Channel: フェーダーはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global)、特定のチャンネル (Channel 1-16)、ゾーン (Zone 1-4)、もしくは全てのチャンネル (Omni) を選択します。

Available Values: Global, 1-16, Zone 1-4, Omni

CC: フェーダーはこの CC ナンバーで MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Minimum Value: フェーダーの最小位置がこの値に対応します。この値を **Maximum** より大きな値に設定するとフェーダーの極性を逆転させることができます。

Available Values: 0-127

Maximum Value: フェーダーの最大位置がこの値に対応します。この値を **Minimum** より小さな値に設定するとフェーダーの極性を逆転させることができます。

Available Values: 0-127

ノブ

Preset Edit モードでノブを編集するには、ノブを動かします。エンコーダーを使用して、利用可能な値をスクロールすることができます。エンコーダーを押して、編集したいパラメーターを選択します。

Channel: ノブはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global)、特定のチャンネル (Channel 1-16)、ゾーン (Zone 1-4)、もしくは全てのチャンネル (Omni) を選択します。

Available Values: Global, 1-16, Zone 1-4, Omni

CC: ノブはこの CC ナンバーで MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Minimum Value: ノブの最小位置がこの値に対応します。この値を **Maximum** より大きな値に設定するとノブの極性を逆転させることができます。

Available Values: 0-127

Maximum Value: ノブの最大位置がこの値に対応します。この値を **Minimum** より小さな値に設定するとノブの極性を逆転させることができます。

Available Values: 0-127

フェーダーボタン

Preset Edit モードで Hammer 88 Pro のフェーダーボタンのコントロールを編集するには、ノブを動かします。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

Channel: フェーダーボタンはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global)、特定のチャンネル (Channel 1-16)、ゾーン (Zone 1-4)、もしくは全てのチャンネル (Omni) を選択します。

Available Values: Global, 1-16, Zone 1-4, Omni

Mode “MODE”:

- CC “CC”: フェーダーボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。
- CC Cycle “CC CYCLE”: フェーダーボタンが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信し、押すたびに値が切り替わります。
- CC Inc/Dec “CC INC/DC”: フェーダーボタンが押されると、値の範囲内で次 (Increment) もしくは前 (Decrement) の CC ナンバーを送信します。

M-AUDIO

- Program **“PROGRAM”**: フェーダーボタンが押されると、この値でプログラムナンバーを送信します。
- Program Cycle **“PRG CYCL”**: フェーダーボタンが押されると、この値でプログラムナンバーを送信し、押すたびに値が切り替わります。
- Program Inc/Dec **“PG IN/DC”**: フェーダーボタンが押されると、値の範囲内で次 (Increment) もしくは前 (Decrement) のプログラムナンバーを送信します。
- Note **“NOTE”**: フェーダーボタンが押されると、このノートナンバーで MIDI メッセージを送信します。

CC に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: フェーダーボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Press: フェーダーボタンが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Release: フェーダーボタンを離すと、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

CC Cycle に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: フェーダーボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Press: フェーダーボタンが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Release: フェーダーボタンを離すと、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Values: フェーダーボタンを押すと、この値で CC ナンバーを送信し、押すたびに値が切り替わります。

Available Values:

- 2 Values

- 3 Values
- 4 Values

First Value:**Available Values:** 0-127**Second Value:****Available Values:** 0-127**Third Value:****Available Values:** 0-127**Last:****Available Values:** 0-127**CC IN/DC に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:****CC:** フェーダーボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。**Available Values:** 0-127**Type:** フェーダーボタンは値の範囲内で次 (**Increment**) もしくは前 (**Decrement**) の数値を送信します。**Min:** レンジ内で最も低いプログラムの値がこれに対応します。**Available Values:** 0-127**Max:** レンジ内で最も高いプログラムの値がこれに対応します。**Available Values:** 0-127**Program に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:****Program:** フェーダーボタンが押されると、このプログラムナンバーを送信します。**Available Values:** 0-127**MSB:** フェーダーボタンを押すと、Bank セレクトの MSB (Most Significant Byte) ・ナンバーを送信します。**Available Values:** 0-127

LSB: フェーダーボタンを押すと、Bank セレクトの LSB (Least Significant Byte)・ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Program Cycle に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Values: フェーダーボタンを押すと、次の数のプログラムの値を回すたびに切り替えます: **2つの値、3つの値、4つの値。**

Available Values:

- 2 Values
- 3 Values
- 4 Values

First: フェーダーボタンが最初に押されると、この MIDI CC ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Second: フェーダーボタンが2回目に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Third: フェーダーボタンが3回目に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Last: フェーダーボタンが最後に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0 - 127

Program IN/DC (PG IN/DC)に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Type: フェーダーボタンが押されると、値の範囲内で次(Increment)もしくは前(Decrement)の数値を送信します。

Min: レンジ内で最も低いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Max: レンジ内で最も高いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Note に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Note: フェーダーボタンはこのノートナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: C-2 – G8

Latch: ラッチがオンに設定されている場合、フェーダーボタンが最初に押されると値を送信し、もう一度押すと別の値を送信し、押すたびに 2 つの値の間で変化します。ラッチがオフに設定されている場合、フェーダーボタンが押されると、その値を送信し、離すとその値を送信します。

Available Values: On/Off

Note On: ラッチが有効な場合、オンにするためにフェーダーボタンが押されると、このペロシティで MIDI ノートナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Note Off: ラッチが有効な場合、オフにするためにフェーダーボタンが押されると、このペロシティで MIDI ノートナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

サステインペダル

Preset Edit モードで Hammer 88 Pro のサステインペダルのコントロールを編集するには、サステインペダルを動かします。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

Channel: サステインペダルはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global)、特定のチャンネル (Channel 1-16)、ゾーン (Zone 1-4)、もしくは全てのチャンネル (Omni) を選択します。

Available Values: Global, 1-16, Zone 1-4, Omni

CC: サステインペダルはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Press: サステインペダルが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Release: サステインペダルが離されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Latch: ラッチがオンに設定されている場合、サステインペダルが踏まれた時に最初の値を送信し、もう一度踏まれた時に別の値を送信し、2 つの値の間で変化します。ラッチがオフの場合、サステインペダルが踏まれた時と離れた時に値を送信します。

Available Values: On/Off

パッド

Preset Edit モードでパッドを編集するには、パッドを押します。エンコーダーを使用して、利用可能な値をスクロールすることができます。エンコーダーを押して、編集したいパラメーターを選択します。

Channel: パッドはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global)、特定のチャンネル (Channel 1-16)、ゾーン (Zone 1-4)、もしくは全てのチャンネル (Omni) を選択します。

Available Values: Global, 1-16, Zone 1-4, Omni

Color 1: パッドにアサインしたい 1 つ目の色を選択します。

Available Values: “OFF” (オフ)、“CHAR.” (シャルトリューズ)、“GREEN” (グリーン)、“AQUA” (アクア)、“CYAN” (シアン)、“AZURE” (アズール)、“BLUE” (ブルー)、“VIOLET” (バイオレット)、“MAGENTA” (マゼンタ)、“ROSE” (ローズ)、“RED” (レッド)、“ORANGE” (オレンジ)、“YELLOW” (イエロー)、“WHITE” (ホワイト)。

Color 2: パッドにアサインしたい 2 つ目の色を選択します。

Available Values: “OFF” (オフ)、“CHAR.” (シャルトリューズ)、“GREEN” (グリーン)、“AQUA” (アクア)、“CYAN” (シアン)、“AZURE” (アズール)、“BLUE” (ブルー)、“VIOLET” (バイオレット)、“MAGENTA” (マゼンタ)、“ROSE” (ローズ)、“RED” (レッド)、“ORANGE” (オレンジ)、“YELLOW” (イエロー)、“WHITE” (ホワイト)。

Mode “MODE”:

- Note “NOTE”: パッドはこのノートナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。
- CC “CC”: パッドはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。
- CC Cycle “CC CYCLE”: パッドが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信し、押すたびに値が切り替わります。
- CC Inc/Dec “CC INC/DC”: パッドが押されると、値の範囲内で次 (Increment) もしくは前 (Decrement) の CC ナンバーを送信します。
- Program “PROGRAM”: パッドが押されると、この値でプログラムナンバーを送信します。
- Program Cycle “PRG CYCL”: パッドが押されると、この値でプログラムナンバーを送信し、押すたびに値が切り替わります。
- Inc/Dec “PG IN/DC”: パッドが押されると、値の範囲内で次 (Increment) もしくは前 (Decrement) のプログラムナンバーを送信します。
- Zone “ZONE”: パッドは鍵盤にアサインされたゾーンを有効化または無効化します。

Note に設定した場合、下記のパラメーターが利用可能です:

M-AUDIO

Note: パッドはこのノートナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: C-2 – G8

Latch: ラッチがオンに設定されている場合、パッドが最初に押されると値を送信し、もう一度押すと別の値を送信し、押すたびに 2 つの値の間で変化します。ラッチがオフに設定されている場合、パッドが押されると、その値を送信し、離すと、その値を送信します。

Available Values: On/Off

Note On: ラッチが有効な場合、オンにするためにパッドが押されると、このペロシティで MIDI ノートナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Note Off: ラッチが有効な場合、オフにするためにパッドが押されると、このペロシティで MIDI ノートナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

CC に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: パッドはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Press: パッドが押されると、この値で MIDI CC ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Release: パッドを離すと、この値で MIDI CC ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

CC Cycle に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: パッドはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Press: パッドが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Release: パッドを離すと、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Values: パッドが押されると、この値でプログラムナンバーを送信し、押すたびに値が切り替わります。

Available Values:

- 2 Values
- 3 Values
- 4 Values

First Value:

Available Values: 0-127

Second Value:

Available Values: 0-127

Third Value:

Available Values: 0-127

Last:

Available Values: 0-127

CC IN/DC に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: パッドはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Type: パッドが押されると、値の範囲内で次 (Increment) もしくは前 (Decrement) の CC ナンバーを送信します。

Min: レンジ内で最も低い値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Max: レンジ内で最も高い値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

プログラムに設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Program: パッドが押されると、このプログラムナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

MSB: パッドを押すと、Bank セレクトの MSB (Most Significant Byte) ・ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

LSB: パッドを押すと、Bank セレクトの LSB (Least Significant Byte) ・ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Program Cycle に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Values: パッドが押されると、押すたびに次の数のプログラムの値で切り替わります: **2 つの値、3 つの値、4 つの値。**

Available Values:

- 2 Values
- 3 Values
- 4 Values

First: パッドが最初に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Second: パッドが 2 回目に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Third: パッドが 3 回目に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Last: パッドが最後に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Program IN/DC (PG IN/DC) に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Type: パッドが押されると、値の範囲内で次 (Increment) もしくは前 (Decrement) の数値を送信します。

Min: レンジ内で最も低いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Max: レンジ内で最も高いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Zone に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Zone 1: オンに設定されている場合、パッドはゾーン 1 を有効にします。オフに設定されている場合、パッドはゾーン 1 を無効にします。

Zone 2: オンに設定されている場合、パッドはゾーン 2 を有効にします。オフに設定されている場合、パッドはゾーン 2 を無効にします。

Zone 3: オンに設定されている場合、パッドはゾーン 3 を有効にします。オフに設定されている場合、パッドはゾーン 3 を無効にします。

Zone 4: オンに設定されている場合、パッドはゾーン 4 を有効にします。オフに設定されている場合、パッドはゾーン 4 を無効にします。

エンコーダーを回す

Preset Edit モードでエンコーダーを回す動作の機能を編集するには、**SHIFT** ボタンを長押ししながら**エンコーダー**を回します。エンコーダーを使用して、利用可能な値をスクロールすることができます。エンコーダーを押して、編集したいパラメーターを選択します。

Channel: エンコーダーはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、もしくは全てのチャンネル (**Omni**)を選択します。

Available Values: Global, 1-16, Zone 1-4, Omni

Message:

- DAW の“**DAW**”と同一: このマッピングは Hammer 88 Pro で選択中の DAW セレクションのエンコーダーのメッセージと一致します。
- Program Cycle “**PRG CYCL**”: これはソフトウェアの異なるプリセットや外部 MIDI デバイスを選択するのに便利です。2-4 つのプログラムメッセージから選択します。
- Program Inc/Dec “**PG IN/DC**”: これは複数のプログラムメッセージをスクロールするのに便利です。
- CC Cycle “**CC CYCLE**”: これはボタンやバーチャルインストゥルメントに見られるような 2 - 4 つの CC の値をコントロールするのに便利です。
- CC Inc/Dec “**CC IN/DC**”: これはいくつかの CC の値をスクロールするのに便利です。
- CC Relative “**CC RELTV**”: これはソフトウェアで切れ目なくエンコーダーをコントロールするのに便利です。次の中から選択します:

[Right 65 / Left 63], [Right 63 / Left 65], [Right 127 / Left 01], [Right 01 / Left 127]

Program Cycle に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Values: エンコーダーを回すと、次の数のプログラムの値を回すたびに切り替えます: **2 つの値、3 つの値、4 つの値。**

Available Values:

- 2 Values
- 3 Values
- 4 Values

First: エンコーダーが最初に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Second: エンコーダーが 2 回目に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Third: エンコーダーが 3 回目に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Last: エンコーダーが最後に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Program IN/DC (PG IN/DC)に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Type: エンコーダーを回すと、値の範囲内で次 (Increment) もしくは前 (Decrement) の数値を送信します。

Minimum: レンジ内で最も低いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Maximum: レンジ内で最も高いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

CC Cycle に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: エンコーダーはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Values: エンコーダーが回されると、この値でプログラムナンバーを送信し、回すたびに刻み目ごとに値が切り替わります。

Available Values:

- 2 Values
- 3 Values
- 4 Values

First: エンコーダーが最初に回されると、この MIDI CC ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Second: エンコーダーが 2 つ目の刻み目まで回されると、この MIDI CC ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Third: エンコーダーが 3 つ目の刻み目まで回されると、この MIDI CC ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Last: エンコーダーが最後の刻み目まで回されると、この MIDI CC ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

CC IN/DC に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: エンコーダーはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Min: レンジ内で最も低いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Max: レンジ内で最も高いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

CC Relative に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: エンコーダーはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Type: エンコーダーを左右に回すと、レンジ内の数値を送信します。

Available Values:

- Right 65, Left 63
- Right 63, Left 65
- Right 127, Left 01
- Right 01, Left 127

エンコーダーを押す

Preset Edit モードでエンコーダーを押す動作の機能を編集するには、**SHIFT** ボタンを長押ししながら **ENCODER** を押します。エンコーダーを使用して、利用可能な値をスクロールすることができます。エンコーダーを押して、編集したいパラメーターを選択します。

Channel: エンコーダーはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、もしくは全てのチャンネル (**Omni**) を選択します。

Available Values: Global, 1-16, Zone 1-4, Omni

Assign:

- **DAW の“DAW”**と同一: このマッピングは Hammer 88 Pro で選択中の DAW セレクションのエンコーダーを押す動作のメッセージと一致します。
- **CC:CC** に設定されている場合、エンコーダーを押す動作はスタンダード MIDI CC メッセージをバーチャルインストゥルメントに送信します。
- **Program:** エンコーダーは選択した **Program** ナンバーと **MSB** および **LSB** の値を使用して MIDI メッセージを送信します。

CC に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: エンコーダーはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Press: エンコーダーが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Release: エンコーダーを離すと、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Program に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Program: エンコーダーが押されると、このプログラムナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

MSB: エンコーダーを押すと、Bank セレクトの MSB (Most Significant Byte) ・ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

LSB: エンコーダーを押すと、Bank セレクトの LSB (Least Significant Byte) ・ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Back ボタン

Preset Edit モードで Back ボタンを押す動作の機能を編集するには、**SHIFT** ボタンを長押ししながら **Back** を押します。エンコーダーを使用して、利用可能な値をスクロールすることができます。エンコーダーを押して、編集したいパラメーターを選択します。

Channel: エンコーダーはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、もしくは全てのチャンネル (**Omni**) を選択します。

Available Values: Global, 1-16, Zone 1-4, Omni

Assign:

- DAW の“**DAW**”と同一: このマッピングは Hammer 88 Pro で選択中の DAW セクションの Back ボタンを押す動作のメッセージと一致します。

- **CC:** CC に設定されている場合、Back ボタンを押す動作はスタンダード MIDI CC メッセージをバーチャルインストゥルメントに送信します。
- **Program:** Back ボタンは選択した Program ナンバーと MSB および LSB の値を使用して MIDI メッセージを送信します。

CC に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: Back ボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Press: Back ボタンが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Release: Back ボタンを離すと、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Program に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Program: Back ボタンが押されると、このプログラムナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

MSB: Back ボタンを押すと、Bank セレクトの MSB (Most Significant Byte) ・ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

LSB: Back ボタンを押すと、Bank セレクトの LSB (Least Significant Byte) ・ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Clip ボタン

Preset Edit モードで Clip ボタンを押す動作の機能を編集するには、**SHIFT** ボタンを長押ししながら **Back** を押します。エンコーダーを使用して、利用可能な値をスクロールすることができます。エンコーダーを押して、編集したいパラメーターを選択します。

注意: いくつかの設定されたパラメーターの値は、編集可能なパラメーターに影響します。例えば、Button のモードのパラメーターが Note から Program に変更された場合、編集可能なパラメーターも Note のパラメーターから Program のパラメーターに変更されます。

Channel: Clip ボタンはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global)、特定のチャンネル (Channel 1-16)、ゾーン (Zone 1-4)、もしくは全てのチャンネル (Omni)を選択します。

Available Values: Global, 1-16, Zone 1-4, Omni

Mode “MODE”:

- CC “**CC**”: Clip ボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。
- CC Cycle “**CC CYCLE**”: Clip ボタンが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信し、押すたびに値が切り替わります。
- CC Inc/Dec “**CC INC/DC**”: Clip ボタンが押されると、値の範囲内で次 (Increment) もしくは前 (Decrement) の CC ナンバーを送信します。
- Program “**PROGRAM**”: Clip ボタンが押されると、この値でプログラムナンバーを送信します。
- Program Cycle “**PRG CYCL**”: Clip ボタンが押されると、この値でプログラムナンバーを送信し、押すたびに値が切り替わります。
- Inc/Dec “**PG IN/DC**”: Clip ボタンが押されると、値の範囲内で次 (Increment) もしくは前 (Decrement) のプログラムナンバーを送信します。
- Note “**NOTE**”: Clip ボタンが押されると、このノートナンバーで MIDI メッセージを送信します。

CC に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: Clip ボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Press: Clip ボタンが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Release: Clip ボタンを離すと、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

CC Cycle に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: エンコーダーはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Press: Clip ボタンが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Release: Clip ボタンを離すと、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Values: Clip ボタンが押されると、この値でプログラムナンバーを送信し、押すたびに値が切り替わります。

Available Values:

- 2 Values
- 3 Values
- 4 Values

First Value:

Available Values: 0-127

Second Value:

Available Values: 0-127

Third Value:

Available Values: 0-127

Last:

Available Values: 0-127

CC IN/DC に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: Clip ボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Type: Clip ボタンは値の範囲内で次 (**Increment**) もしくは前 (**Decrement**) の数値を送信します。

Min: レンジ内で最も低いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Max: レンジ内で最も高いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Program に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Program: Clip ボタンが押されると、このプログラムナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

MSB: Clip ボタンを押すと、Bank セレクトの MSB (Most Significant Byte) ・ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

LSB: Clip ボタンを押すと、Bank セレクトの LSB (Least Significant Byte) ・ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Program Cycle に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Values: Clip ボタンを押すと、次の数のプログラムの値を回すたびに切り替えます: **2 つの値、3 つの値、4 つの値。**

Available Values:

- 2 Values
- 3 Values
- 4 Values

First: Clip ボタンが最初に押されると、この MIDI CC ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Second: Clip ボタンが 2 回目に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Third: Clip ボタンが 3 回目に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Last: Clip ボタンが最後に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Program IN/DC (PG IN/DC) に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Type: Clip ボタンが押されると、値の範囲内で次 (Increment) もしくは前 (Decrement) の数値を送信します。

Min: レンジ内で最も低いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Max: レンジ内で最も高いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Note に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Note: Clip ボタンはこのノートナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: C-2 - G8

Latch: ラッチがオンに設定されている場合、Clip ボタンが最初に押されると値を送信し、もう一度押すと別の値を送信し、押すたびに 2 つの値の間で変化します。ラッチがオフに設定されている場合、Clip ボタンが押されると、その値を送信し、離すとその値を送信します。

Available Values: On/Off

Note On: ラッチが有効な場合、オンにするために Clip ボタンが押されると、このベロシティで MIDI ノートナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Note Off: ラッチが有効な場合、オフにするために Clip ボタンが押されると、このベロシティで MIDI ノートナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

エクスプレッションペダル

Preset Edit モードで Hammer 88 Pro のエクスプレッションペダルのコントロールを編集するには、エクスプレッションペダルを動かします。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

- **Chan:** サステインペダルはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global)、特定のチャンネル (Channel 1-16)、ゾーン (Zone 1-4)、もしくは全てのチャンネル (Omni) を選択します。
- **CC:** サステインペダルはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。
- **Min:** プログラムのレンジ内で最も低いプログラムがこの値に対応します。
- **Max:** プログラムのレンジ内で最も低いプログラムがこの値に対応します。

FS2

Preset Edit モードで FS2(フットスイッチ 2)のコントロールを編集するには、フットスイッチを動かします。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

- **Latch:** ラッチを有効にすると、ペダルは押したときに値を送信し、2 回目に押したときに異なる値を送信し、押すたびに 2 つの値を交互に送信します(ラッチまたはトグル動作)。ラッチを無効にすると、ペダルは押したときに値を送信し、離れたときに異なる値を送信します(モーメンタリー動作)。
- **Chan:** サステインペダルはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル(**Global**)、特定のチャンネル(**Channel 1-16**)、ゾーン(**Zone 1-4**)、もしくは全てのチャンネル(**Omni**)を選択します。
- **CC:** サステインペダルはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。
- **Min:** プログラムのレンジ内で最も低いプログラムがこの値に対応します。
- **Max:** プログラムのレンジ内で最も低いプログラムがこの値に対応します。

FS3

Preset Edit モードで FS3(フットスイッチ 3)のコントロールを編集するには、フットスイッチを動かします。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

- **Latch:** ラッチを有効にすると、ペダルは押したときに値を送信し、2 回目に押したときに異なる値を送信し、押すたびに 2 つの値を交互に送信します(ラッチまたはトグル動作)。ラッチを無効にすると、ペダルは押したときに値を送信し、離れたときに異なる値を送信します(モーメンタリー動作)。
- **Chan:** サステインペダルはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル(Global)、特定のチャンネル(Channel 1-16)、ゾーン(Zone 1-4)、もしくは全てのチャンネル(Omni)を選択します。
- **CC:** サステインペダルはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。
- **Min:** プログラムのレンジ内で最も低いプログラムがこの値に対応します。
- **Max:** プログラムのレンジ内で最も低いプログラムがこの値に対応します。

Preset の保存

Preset を保存するには:

5. **SHIFT** と **Preset** ボタンを押して Edit Mode に入ります。
6. **Preset Edit モード**の項の記述に従い、操作子を編集します。
7. **Preset** ボタンを押します。
8. ディスプレイに“**SAVE?**”と表示され、次の選択が利用可能になります。
 - **Cancel:** Cancel に“**Yes**”を選択すると、全ての変更は破棄されます。
 - **Replace:** Replace に“**Yes**”を選択すると、選択中のプリセットを上書きします。
 - **Save As:** Save As に“**Yes**”を選択すると、“**NAME**”をどの名前にするかを編集/変更できます。Save As 画面の最後で **Save** が選択可能です。Save 画面で“**Yes**”を押すと、新しいプリセットが保存されます。

注意: DAW 名を編集する時は、エンコーダーで編集したい文字をスクロールしてから、エンコーダーを押して目的の文字を選択してください。プリセット名の文字を削除するには、**SHIFT** と **Back** ボタンを押します。

SHIFT を長押ししながら DAW ボタンを押すと、ユーザー DAW の編集に入ります。

編集されるデフォルトのパラメーターは現在のユーザー DAW のフェーダー 1 のマッピングです。例えば、ノブなどの他の操作子が動かされたり、押されると、その操作子の編集が有効になります。

ユーザー DAW の保存

ユーザー DAW を保存するには:

1. SHIFT と DAW ボタンを押して Edit モードに入ります。
2. **DAW Edit モード**の項目の記載に従い、操作子を編集します。
3. DAW ボタンを押します。
4. ディスプレイに“SAVE?” と表示され、次の選択が利用可能になります。
 - **Cancel:** Cancel に“Yes”を選択すると、全ての変更は破棄されます。
 - **Replace:** Replace に“Yes”を選択すると、選択中のプリセットを上書きします。
 - **Save As:** Save As に“Yes”を選択すると、“NAME”をどの名前にするかを編集/変更できます。Save As 画面の最後で Save が選択可能です。Save 画面で“Yes”を押すと、新しいユーザー DAW が保存されます。

注意: DAW 名を編集する時は、エンコーダーで編集したい文字をスクロールしてから、エンコーダーを押して目的の文字を選択してください。DAW 名の文字を削除するには、SHIFT と Back ボタンを押します。

フェーダー

DAW Edit モードでフェーダーのコントロールを編集するには、フェーダーを動かします。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

Channel: フェーダーはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global) か特定のチャンネル (Channel 1-16) を選択します。

Available Values: Global、1-16

Message “MESSAGE”:

- **Mackie “Mackie”:** Mackie Control に設定されている場合、Mackie Control モードに対応した DAW でフェーダーを使用することができます。
- **Mackie/HUI “MACK/HUI”:** When set to Mackie/HUI に設定されている場合、HUI モードに対応した DAW でフェーダーを使用することができます。
- **CC “CC”:** フェーダーはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

CC: フェーダーはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Minimum Value: フェーダーの最小位置がこの値に対応します。この値を **Maximum** より大きな値に設定するとフェーダーの極性を逆転させることができます。

Available Values: 0-127

Maximum Value: フェーダーの最大位置がこの値に対応します。この値を **Minimum** より小さな値に設定するとフェーダーの極性を逆転させることができます。

Available Values: 0-127

ノブ

DAW Edit モードでノブを編集するには、ノブを動かします。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

Channel: ノブはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global) か特定のチャンネル (Channel 1-16) を選択します。

Available Values: Global、1-16

Message “MESSAGE”:

- Mackie “**Mackie**”: Mackie Control に設定されている場合、Mackie Control モードに対応した DAW でノブを使用することができます。
- Mackie/HUI “**MACK/HUI**”: When set to Mackie/HUI に設定されている場合、HUI モードに対応した DAW でノブを使用することができます。
- CC “**CC**”: ノブはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

CC: ノブはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Minimum Value: ノブの最小位置がこの値に対応します。この値を **Maximum** より大きな値に設定するとノブの極性を逆転させることができます。

Available Values: 0-127

Maximum Value: ノブの最大位置がこの値に対応します。この値を **Minimum** より小さな値に設定するとノブの極性を逆転させることができます。

Available Values: 0-127

DAW Edit モードでフェーダーボタンを編集するには、フェーダーボタンを押します。どのボタンを編集するか選択した後、モードごとに何のボタンを編集するかを選択する必要があります。これによって、MODE によって 4 つの異なるボタンのメッセージ (Rec / Select / Solo / Mute) を送ることができます。例えば、MODE が Record に設定されている場合、フェーダーボタン 1 がチャンネル 1 で CC メッセージを送信することができ、MODE が Select に設定されている場合、フェーダーボタン 1 がチャンネル 2 で CC メッセージを送信することができます。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して、編集したいパラメーターを選択します。

Mode “MODE”:

- Record **“RECORD”**: MODE が RECORD に設定されている際のフェーダーボタンのメッセージ。
- Select **“SELECT”**: MODE が SELECT に設定されている際のフェーダーボタンのメッセージ。
- Mute **“MUTE”**: MODE が MUTE に設定されている際のフェーダーボタンのメッセージ。
- Solo **“SOLO”**: MODE が SOLO に設定されている際のフェーダーボタンのメッセージ。

Channel: フェーダーボタンはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global) か特定のチャンネル (Channel 1-16) を選択します。

Available Values: Global, 1-16

Message “MESSAGE”:

- Mackie/HUI **“MACK/HUI”**: Mackie/HUI に設定されている場合、HUI モード対応の DAW で、Rec、Select、Mute、および Solo 操作子をボタンで使用できます。
- Mackie **“MACKIE”**: Mackie Control に設定されている場合、HUI モード対応の DAW で、Rec、Select、Mute、および Solo 操作子をボタンで使用できます。
- Program **“PROGRAM”**: フェーダーボタンが押されると、このプログラムナンバーを送信します。
- Program Cycle **“PRG CYCL”**: フェーダーボタンが押されると、この値でプログラムナンバーを送信し、押すたびに値が切り替わります。
- Program Inc/Dec **“PG IN/DC”**: フェーダーボタンが押されると、値の範囲内で次 (Increment) もしくは前 (Decrement) のプログラムナンバーを送信します。
- CC **“CC”**: フェーダーボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。
- CC Cycle **“CC CYCLE”**: フェーダーボタンが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信し、押すたびに値が切り替わります。
- CC Inc/Dec **“CC INC/DC”**: フェーダーボタンが押されると、値の範囲内で次 (Increment) もしくは前 (Decrement) の CC ナンバーを送信します。

- Note “NOTE”: フェーダーボタンが押されると、このノートナンバーで MIDI メッセージを送信します。

プログラムに設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Program: フェーダーボタンが押されると、このプログラムナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

MSB: フェーダーボタンを押すと、Bank セレクトの MSB (Most Significant Byte) ・ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

LSB: フェーダーボタンを押すと、Bank セレクトの LSB (Least Significant Byte) ・ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Program Cycle に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Values: フェーダーボタンを押すと、次の数のプログラムの値を押すたびに切り替えます: 2 つの値、3 つの値、4 つの値。

Available Values:

- 2 Values
- 3 Values
- 4 Values

First: フェーダーボタンが最初に押されると、このプログラムメッセージが送信されます。

Available Values: 0-127

Second: フェーダーボタンが 2 回目に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Third: フェーダーボタンが 3 回目に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Last: フェーダーボタンが最後に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Program IN/DC (PG IN/DC)に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

M-AUDIO

Type: フェーダーボタンが押されると、値の範囲内で次(**Increment**)もしくは前(**Decrement**)の数値を送信します。

Min: レンジ内で最も低いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Max: レンジ内で最も高いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

CC に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: フェーダーボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Press: フェーダーボタンが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Release: フェーダーボタンを離すと、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

CC Cycle に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: フェーダーボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Press: フェーダーボタンが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Release: フェーダーボタンを離すと、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Values: フェーダーボタンが押されると、この値でプログラムナンバーを送信し、押すたびに値が切り替わります。

Available Values:

- 2 Values

- 3 Values
- 4 Values

First Value:**Available Values:** 0-127**Second Value:****Available Values:** 0-127**Third Value:****Available Values:** 0-127**Last:****Available Values:** 0-127

CC IN/DC に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: フェーダーボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Type: フェーダーボタンが押されると、値の範囲内で次 (Increment) もしくは前 (Decrement) の CC ナンバーを送信します。

Min: レンジ内で最も低い値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Max: レンジ内で最も高い値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Note に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Note: フェーダーボタンはこのノートナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: C-2 - G8

Latch: ラッチがオンに設定されている場合、フェーダーボタンが最初に押されると値を送信し、もう一度押すと別の値を送信し、押すたびに 2 つの値の間で変化します。ラッチがオフに設定されている場合、フェーダーボタンが押されると、その値を送信し、離すとその値を送信します。

Note On: ラッチが有効な場合、オンにするためにフェーダーボタンが押されると、このペロシティで MIDI ノートナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Note Off: ラッチが有効な場合、オフにするためにフェーダーボタンが押されると、このペロシティで MIDI ノートナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

パッド

DAW Edit モードでパッドを編集するには、パッドを押します。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

Channel: パッドはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global) か特定のチャンネル (Channel 1-16) を選択します。

Available Values: Global、1-16

Color 1: パッドにアサインしたい 1 つ目の色を選択します。

Available Values: “OFF” (オフ)、“CHAR.” (シャルトリューズ)、“GREEN” (グリーン)、“AQUA” (アクア)、“CYAN” (シアン)、“AZURE” (アズール)、“BLUE” (ブルー)、“VIOLET” (バイオレット)、“MAGENTA” (マゼンタ)、“ROSE” (ローズ)、“RED” (レッド)、“ORANGE” (オレンジ)、“YELLOW” (イエロー)、“WHITE” (ホワイト)。

Color 2: パッドにアサインしたい 2 つ目の色を選択します。

Available Values: “OFF” (オフ)、“CHAR.” (シャルトリューズ)、“GREEN” (グリーン)、“AQUA” (アクア)、“CYAN” (シアン)、“AZURE” (アズール)、“BLUE” (ブルー)、“VIOLET” (バイオレット)、“MAGENTA” (マゼンタ)、“ROSE” (ローズ)、“RED” (レッド)、“ORANGE” (オレンジ)、“YELLOW” (イエロー)、“WHITE” (ホワイト)。

Type “TYPE”:

- Note “NOTE”: パッドはこの Note ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。
- CC “CC”: パッドはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。
- Preset の“PRESET”と同じ: PRESET に設定されている場合、Preset モードでパッドにアサインされているものと同じメッセージが送信されます。

Note に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Note: パッドはこの Note ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: C-2 – G 8

Latch: Latch On に設定されている場合、パッドが押されると最初の値を送信し、2 回目に押されると異なる値を送信し、押すたびに 2 つの値の間で変化します。ラッチがオフに設定されている場合、パッドが押されると、その値を送信し、離すとその値を送信します。

Available Values: On/Off

Note On: ラッチが有効な場合、オンにするためにパッドが押されると、このペロシティで MIDI ノートナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Note Off: ラッチが有効な場合、オフにするためにパッドが押されると、このペロシティで MIDI ノートナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

CC に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: パッドはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Press: パッドが押されると、この値で MIDI CC ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Release: パッドを離すと、この値で MIDI CC ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

エンコーダーを回す

DAW Edit モードでエンコーダーを回す動作の機能を編集するには、**SHIFT** ボタンを長押ししてエンコーダーを動かします。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

Channel: エンコーダーはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global) か特定のチャンネル (**Channel 1-16**) を選択します。

Available Values: Global、1-16

Message:

- **Mode:** エンコーダーを回した時に、どのメッセージが送信されるかを設定します。
 - **CC Relative:** これはスタンダード MIDI CC メッセージを DAW に送信するのに便利です。
 - **CC Cycle:** これはボタンやバーチャルインストルメントに見られるような 2 - 4 つの CC の値をコントロールするのに便利です。
 - **CC Inc/Dec:** これはいくつかの CC の値をスクロールするのに便利です。
 - **Program Cycle:** これはソフトウェアの異なるプリセットや外部 MIDI デバイスを選択するのに便利です。2-4 つのプログラムメッセージから選択します。
 - **Program INC/DEC:** これは複数のプログラムメッセージをスクロールするのに便利です。
 - **Mackie Up/Down:** Mackie Control モードに対応している DAW で上下にスクロールするのに便利です。
 - **Mackie Left/Right:** Mackie Control モードに対応している DAW で左右にスクロールするのに便利です。
 - **HUI Up/Down:** HUI モードに対応している DAW で上下にスクロールするのに便利です。
 - **HUI Left/Right:** HUI モードに対応している DAW で左右にスクロールするのに便利です。
- **CC Relative Type:** エンコーダーを左右に回すと、レンジの範囲内の数値を送信します。
 - **Right 65、Left 63**
 - **Right 63、Left 65**
 - **Right 127、Left 01**
 - **Right 01、Left 127**
- **CC Cycle Mode Type:** エンコーダーを回すと、2-4 つの値を送信します。
- **CC Cycle Value:** どの CC の値を送信するかを決定します。

- **CC:** エンコーダーが回された時に、送信されるMIDI CCの値を選択します。
- **Program Cycle Mode Type:** エンコーダーを回すと、2-4つの値を送信します。
- **Program:** どのプログラムを送信するかを決定します。

エンコーダーを押す

DAW Edit モードでエンコーダーを押す動作の機能を編集するには、**SHIFT** ボタンを長押ししながら**エンコーダー**を押します。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

Channel: エンコーダーはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**) か特定のチャンネル (**Channel 1-16**) を選択します。

Available Values: Global、1-16

Message:

- **Mode:** エンコーダーを回した時に、どのメッセージが送信されるかを設定します。
 - **CC:** **CC** に設定されている場合、エンコーダーはスタンダード MIDI CC メッセージを DAW に送信します。
 - **Program:** エンコーダーは選択した **Program** ナンバー、**MSB** および **LSB** の値を使用して MIDI メッセージを送信します。
 - **Mackie: Mackie Control** に設定されている場合、Mackie Control モードに対応している DAW でエンコーダーを使用することができます。
 - **Mackie/HUI: Mackie/HUI** に設定されている場合、HUI モードに対応している DAW でエンコーダーを使用することができます。
- **CC:** エンコーダーが押された時に送信される MIDI CC の値を選択します。
- **Down:** エンコーダーが押されると、この CC の値を送信します。
- **Up:** エンコーダーを離すと、この CC の値を送信します。
- **Program:** エンコーダーが押されると、このプログラムナンバーを送信します。
- **MSB:** エンコーダーが押されると、Bank セレクトの MSB (Most Significant Byte) ・ナンバーを送信します。
- **LSB:** エンコーダーが押されると、Bank セレクトの LSB (Least Significant Byte) ・ナンバーを送信します。

Back ボタン

DAW Edit モードで Back ボタンの機能を編集するには、**SHIFT** ボタンを長押ししながら **Back** ボタンを押します。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

Channel: Back ボタンはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**) か特定のチャンネル (**Channel 1-16**) を選択します。

Available Values: Global、1-16、Zone 1-4、Omni

Message:

- **Mode:** Back ボタンを押した時に、どのメッセージが送信されるかを設定します。
 - **CC:** **CC** に設定されている場合、Back ボタンはスタンダード MIDI CC メッセージを DAW に送信します。
 - **Program:** Back ボタンは選択した **Program** ナンバー、**MSB** および **LSB** の値を使用して MIDI メッセージを送信します。
 - **Mackie:** **Mackie Control** に設定されている場合、Mackie Control モードに対応している DAW で Back ボタンを使用することができます。
 - **Mackie/HUI:** **Mackie/HUI** に設定されている場合、HUI モードに対応している DAW で Back ボタンを使用することができます。
- **CC:** Back ボタンが押された時に送信される MIDI CC の値を選択します。
- **Down:** Back ボタンが押されると、この CC の値を送信します。
- **Up:** Back ボタンを離すと、この CC の値を送信します。
- **Program:** Back ボタンが押されると、このプログラムナンバーを送信します。
- **MSB:** Back ボタンが押されると、Bank セレクトの MSB (Most Significant Byte)・ナンバーを送信します。
- **LSB:** Back ボタンが押されると、Bank セレクトの LSB (Least Significant Byte)・ナンバーを送信します。

Bank < および > ボタン

DAW Edit モードで Bank < もしくは > ボタンの機能を編集するには、**SHIFT** ボタンを長押ししながら **BANK < もしくは BANK >** ボタンを押します。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

Channel: Bank < もしくは > ボタンはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**) か特定のチャンネル (**Channel 1-16**) を選択します。

Available Values: Global、1-16

Message:

- **Mode:** Bank ボタンを押した時に、どのメッセージが送信されるかを設定します。
 - **CC:** **CC** に設定されている場合、Bank < もしくは > ボタンはスタンダード MIDI CC メッセージを DAW に送信します。
 - **Program:** Bank < もしくは > ボタンは選択した **Program** ナンバー、**MSB** および **LSB** の値を使用して MIDI メッセージを送信します。
 - **Mackie:** **Mackie Control** に設定されている場合、Mackie Control モードに対応している DAW で Bank < もしくは > ボタンを使用することができます。
 - **Mackie/HUI:** **Mackie/HUI** に設定されている場合、HUI モードに対応している DAW で Bank < もしくは > ボタンを使用することができます。
- **CC:** Bank < もしくは > ボタンが押された時に送信される MIDI CC の値を選択します。
- **Down:** Bank < もしくは > ボタンが押されると、この CC の値を送信します。
- **Up:** Bank < もしくは > ボタンを離すと、この CC の値を送信します。
- **Program:** Bank < もしくは > ボタンが押されると、このプログラムナンバーを送信します。
- **MSB:** Bank < もしくは > ボタンが押されると、Bank セレクトの MSB (Most Significant Byte)・ナンバーを送信します。
- **LSB:** Bank < もしくは > ボタンが押されると、Bank セレクトの LSB (Least Significant Byte)・ナンバーを送信します。

トランスポートコントロールボタン

DAW Edit モードで<<、>>、Loop、Stop、Play もしくは Record ボタンの機能を編集するには、**SHIFT** ボタンを長押ししながら<<、>>、**Loop**、**Stop**、**Play** もしくは **Record** ボタンを押します。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

Channel: <<、>>、Loop、Stop、Play もしくは Record ボタンはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル(**Global**)か特定のチャンネル(**Channel 1-16**)を選択します。

Available Values: Global、1-16

Message:

- **Mode:** <<、>>、Loop、Stop、Play もしくは Record ボタンを押した時に、どのメッセージが送信されるかを設定します。
 - **CC:** CC に設定されている場合、<<、>>、Loop、Stop、Play もしくは Record ボタンはスタンダード MIDI CC メッセージを DAW に送信します。
 - **Program:** <<、>>、Loop、Stop、Play もしくは Record ボタンは選択した **Program** ナンバー、**MSB** および **LSB** の値を使用して MIDI メッセージを送信します。
 - **Mackie: Mackie Control** に設定されている場合、Mackie Control モードに対応している DAW で<<、>>、Loop、Stop、Play もしくは Record ボタンを使用することができます。
 - **Mackie/HUI:** Mackie/HUI に設定されている場合、HUI モードに対応している DAW で<<、>>、Loop、Stop、Play もしくは Record ボタンを使用することができます。
- **CC:** <<、>>、Loop、Stop、Play もしくは Record ボタンが押された時に送信される MIDI CC の値を選択します。
- **Down:** <<、>>、Loop、Stop、Play もしくは Record ボタンが押されると、この CC の値を送信します。
- **Up:** <<、>>、Loop、Stop、Play もしくは Record ボタンを離すと、この CC の値を送信します。
- **Program:** <<、>>、Loop、Stop、Play もしくは Record ボタンが押されると、このプログラムナンバーを送信します。
- **MSB:** <<、>>、Loop、Stop、Play もしくは Record ボタンが押されると、Bank セレクトの MSB (Most Significant Byte)・ナンバーを送信します。
- **LSB:** <<、>>、Loop、Stop、Play もしくは Record ボタンが押されると、Bank セレクトの LSB (Least Significant Byte)・ナンバーを送信します。

Clip ボタン

DAW Edit モードで Clip ボタンの機能を編集するには、**SHIFT** ボタンを長押ししながら、**>>**、**Loop**、**Stop**、**Play** もしくは **Record** ボタンを押します。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

注意: いくつかの設定されたパラメーターの値は、編集可能なパラメーターに影響します。例えば、Button のモードのパラメーターが Note から Program に変更された場合、編集可能なパラメーターも Note のパラメーターから Program のパラメーターに変更されます。

Channel: Clip ボタンはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global) か特定のチャンネル (**Channel 1-16**) を選択します。

Available Values: Global、1-16

Message “MESSAGE”:

- CC “**CC**”: Clip ボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。
- CC Cycle “**CC CYCLE**”: Clip ボタンが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信し、押すたびに値が切り替わります。
- CC Inc/Dec “**CC INC/DC**”: Clip ボタンが押されると、値の範囲内で次 (Increment) もしくは前 (Decrement) の CC ナンバーを送信します。
- Program “**PROGRAM**”: Clip ボタンが押されると、この値でプログラムナンバーを送信します。
- Program Cycle “**PRG CYCL**”: Clip ボタンが押されると、この値でプログラムナンバーを送信し、押すたびに値が切り替わります。
- Inc/Dec “**PG IN/DC**”: Clip ボタンが押されると、値の範囲内で次 (Increment) もしくは前 (Decrement) のプログラムナンバーを送信します。
- Note “**NOTE**”: Clip ボタンが押されると、このノートナンバーで MIDI メッセージを送信します。
- Mackie “**MACKIE**”: Mackie Control に設定されている場合、Mackie Control モードに対応している DAW で Clip ボタンを使用することができます。
- Mackie/HUI “**MACK/HUI**”: Mackie/HUI に設定されている場合、HUI モードに対応している DAW で Clip ボタンを使用することができます。

CC に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です。

CC: Clip ボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Press: Clip ボタンが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Release: Clip ボタンを離すと、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

CC Cycle に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: エンコーダーはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Press: Clip ボタンが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Release: Clip ボタンを離すと、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Values: Clip ボタンが押されると、この値でプログラムナンバーを送信し、押すたびに値が切り替わります。

Available Values:

- 2 Values
- 3 Values
- 4 Values

First Value:

Available Values: 0-127

Second Value:

Available Values: 0-127

Third Value:

Available Values: 0-127

Last:

Available Values: 0-127

CC IN/DC に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: Clip ボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

M-AUDIO

Type: Clip ボタンは値の範囲内で次 (Increment) もしくは前 (Decrement) の数値を送信します。

Min: レンジ内で最も低いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Max: レンジ内で最も高いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Program に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Program: Clip ボタンが押されると、このプログラムナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

MSB: Clip ボタンを押すと、Bank セレクトの MSB (Most Significant Byte) ・ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

LSB: Clip ボタンを押すと、Bank セレクトの LSB (Least Significant Byte) ・ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Program Cycle に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Values: Clip ボタンを押すと、次の数のプログラムの値を回すたびに切り替えます: **2 つの値、3 つの値、4 つの値。**

Available Values:

- 2 Values
- 3 Values
- 4 Values

First: Clip ボタンが最初に押されると、この MIDI CC ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Second: Clip ボタンが 2 回目に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Third: Clip ボタンが 3 回目に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Last: Clip ボタンが最後に押されると、このプログラムメッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Program IN/DC (PG IN/DC)に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Type: Clip ボタンが押されると、値の範囲内で次 (**Increment**) もしくは前 (**Decrement**) の数値を送信します。

Min: レンジ内で最も低いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Max: レンジ内で最も高いプログラムの値がこれに対応します。

Available Values: 0-127

Note に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Note: Clip ボタンはこのノートナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: C-2 - G8

Latch: ラッチがオンに設定されている場合、Clip ボタンが最初に押されると値を送信し、もう一度押すと別の値を送信し、押すたびに 2 つの値の間で変化します。ラッチがオフに設定されている場合、Clip ボタンが押されると、その値を送信し、離すとその値を送信します。

Available Values: On/Off

Note On: ラッチが有効な場合、オンにするために Clip ボタンが押されると、このベロシティで MIDI ノートナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

Note Off: ラッチが有効な場合、オフにするために Clip ボタンが押されると、このベロシティで MIDI ノートナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

ショートカットおよびホットキー

DAW Edit モードでホットキー操作子(メトロノーム、パッド 1 - 16)ボタンの機能を編集するには、**SHIFT** ボタンを長押ししながら **TEMPO/METRO** ボタン、もしくはいずれかの**パッド**を押します。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

注意: いくつかの設定されたパラメーターの値は、編集可能なパラメーターに影響します。例えば、Button のモードのパラメーターが Note から Program に変更された場合、編集可能なパラメーターも Note のパラメーターから Program のパラメーターに変更されます。

Mode “MODE”:

- ASCII ショートカットキーメッセージ“**KEY**”: PC キーボードのキーもしくは PC キーボードのキーコンビネーションのメッセージ。
- CC “**CC**”: Metronome ボタンもしくは Pad はこの CC ナンバーを使用してショートカットメッセージを送信します。
- Note “**NOTE**”: Metronome ボタンもしくは Pad はこのノートナンバーを使用してショートカットメッセージを送信します。
- Off “**OFF**”: Metronome ボタンもしくは Pad は押されてもショートカットメッセージを送信しません。

Color “COLOR”: ショートカットにマッピングしたいカラーを選択します。

Key: パッドもしくはメトロノームをトリガーするのに使用するキーボードのキーを選択します。

Win Mod Key: パッドもしくはメトロノームをトリガーするのに使用する Windows スタイルの変更されたキーボードのキーを選択します。

Mac Mod Key: パッドもしくはメトロノームをトリガーするのに使用する macOS スタイルの変更されたキーボードのキーを選択します。

CC に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: パッドもしくはメトロノームはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

DAW および Preset ボタン

DAW および Preset ボタンの機能を編集するには、**SHIFT** ボタンを長押ししながら DAW もしくは Preset ボタンを押します。エンコーダーを使用して利用可能なパラメーターをスクロールすることができます。エンコーダーを押して編集したいパラメーターを選択します。

注意: いくつかの設定されたパラメーターの値は、編集可能なパラメーターに影響します。例えば、Button のモードのパラメーターが Note から Program に変更された場合、編集可能なパラメーターも Note のパラメーターから Program のパラメーターに変更されます。

Channel: ボタンはこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global) か特定のチャンネル (**Channel 1-16**) を選択します。

Available Values: Global、1-16

Assignment “ASSIGN”:

- Mackie “**MACKIE**”: Mackie Control に設定されている場合、Mackie Control モードに対応している DAW でボタンを使用することができます。
- Mackie/HUI “**MACK/HUI**”: Mackie/HUI に設定されている場合、HUI モードに対応している DAW でボタンを使用することができます。
- Program “**PROGRAM**”: ボタンが押されると、この値でプログラムナンバーを送信します。
- CC “**CC**”: ボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。
- Off “**OFF**”: ボタンが押されても MIDI メッセージは送信されません。

Program に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

Program: DAW および Preset ボタンが押されると、このプログラムナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

MSB: DAW および Preset ボタンを押すと、Bank セレクトの MSB (Most Significant Byte) ・ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

LSB: DAW および Preset ボタンを押すと、Bank セレクトの LSB (Least Significant Byte) ・ナンバーを送信します。

Available Values: 0-127

CC に設定されている場合、下記のパラメーターが利用可能です:

CC: DAW および Preset ボタンはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Press: DAW および Preset ボタンが押されると、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

Release: DAW および Preset ボタンを離すと、この CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

Available Values: 0-127

ユーザーDAWの保存

ユーザーDAWを保存するには:

5. **SHIFT** と **DAW** ボタンを押して Edit モードに入ります。
6. **DAW Edit モード**の項目の記載に従い、操作子を編集します。
7. **DAW** ボタンを押します。
8. ディスプレイに“**SAVE?**”と表示され、次の選択が利用可能になります。
 - **Cancel: Cancel** に“**Yes**”を選択すると、全ての変更は破棄されます。
 - **Replace: Replace** に“**Yes**”を選択すると、選択中のプリセットを上書きします。
 - **Save As: Save As** に“**Yes**”を選択すると、“**NAME**”をどの名前にするかを編集/変更できます。**Save As** 画面の最後で **Save**が選択可能です。**Save** 画面で“**Yes**”を押すと、新しいユーザーDAWが保存されます。

注意:DAW 名を編集する時は、エンコーダーで編集したい文字をスクロールしてから、エンコーダーを押して目的の文字を選択してください。DAW 名の文字を削除するには、**SHIFT** と **Back** ボタンを押します。

応用設定

ARP および Latch ボタン

ARP ボタンを押すとキーボードの内蔵アルペジエーターを有効化します。アルペジエーターの周期は現在の Tempo と Time Division 設定に基づきます (Tempo 設定は Tempo ボタンで編集可能です)。Time Division 設定は MODE LED (Record、Select、Mute、Solo、および MIDI) がオフの状態ではフェーダーボタン 1/4、1/8、1/16、1/32 を押すか、**Note Repeat** を長押ししてエンコーダーを回すとアクセスできます。

ARP Latch 機能を有効にするには、ARP ボタンを押します。

注意: Arpeggiator を現在のテンポの BPM 設定もしくは外部 MIDI クロックソースのいずれかに同期させることができます。クロックのソースは Preset Edit モードで Tempo ボタンを選択/押すと編集することができます。アルペジエーター機能は DAW、PRESET の 2 つのモードで利用可能です。

注意: Time Division ボタンを 2 度押すると、Time Division の設定を 3 連符に変更することができます。例えば、アルペジエーターで 1/16 のノートを 3 連符で演奏したい場合は、1/16 ボタンを 2 度押します。1/16 フェーダーボタンが点滅し、3 連符が有効であることを示します。

アルペジエーターを編集するには、SHIFT と ARP ボタンを押します。

アルペジエーターのタイプを編集するには、Type でエンコーダーをクリックして、メニューから目的の設定を選択します。モードはアルペジエーターのノートの再生方法を決定します。

- **Up:** ノートは低音から高音に向かって発音します。
- **Down:** ノートは高音から低音に向かって発音します。
- **Inclusive:** ノートは低音から高音に向かって発音し、折り返します。最も低い音と最も高い音は折り返しの際に 2 度発音されます。
- **Exclusive:** ノートは低音から高音に向かって発音し、折り返します。最も低い音と最も高い音は折り返しの際に 1 度発音されます。
- **Order:** ノートは押された順番に発音します。
- **Random:** ノートはランダムに発音します。
- **Chord:** ノートはコード内の音を発音します。

アルペジエーターのオクターブレンジを設定するには、オクターブのエンコーダーをクリックして、目的の値 (1、2、もしくは 3 オクターブ) を選択します。オクターブレンジは単音を押すとアルペジエーターで、どのくらいのオクターブで再生されるかと決定します。オクターブが増えると、より多くの音が再生されます。

アルペジエーターのゲートを設定するには、Gate でエンコーダーをクリックしてから、5-100 の中から目的の値を選択します。ゲートのレンジはアルペジエーターで音がどのくらいの長さで鳴らされるかを設定します。ゲートが短くなるほど、音も短くなります。

アルペジエーターのスイングを設定するには、Swing でエンコーダーをクリックしてから、50%の間で 75%目的の値を設定します。スイングのレンジはパターン化された音からどのくらい逸脱するかを設定します。スイングが高くなるほど、タイミングの逸脱も大きくなります。

アルペジエーターのスプリットを設定するには、Split でエンコーダーをクリックしてから、On を選択します。Split が有効な場合、アルペジエーターはゾーンのように特定のセクションにアサインされます。

First を選択すると、アルペジエーターのレンジで最も低いキーを設定します。

Last を選択すると、アルペジエーターのレンジで最も高いキーを設定します。

注意: Arp Edit モードで First もしくは Last のノートが選択された場合、鍵盤のキーを押して入力することができます。これによりエンコーダーを使用せずに素早く選択することができます。

Channel を選択して、アルペジエーターのスプリットが送信されるチャンネルを設定します。

Smart Chord ボタン

このボタンが押されると、キーボード内蔵の Smart Chord 機能が有効になります。Smart Chord は、GLOBAL SETTINGS メニューでの選択によって、キーボード、パッド、もしくは両方で演奏されたノートに対して機能します。Smart Chord モードが有効な場合、単音を弾くと選択中の Smart Chord Edit の設定の通りにコードを演奏します。この機能は DAW、PRESET の 2 つのキーボードのモードで使用可能です。

Smart Chord の設定を編集するには、SHIFT と CHORD を押します。

Mode:

- **Smart** モードではソングのキー(例えば、C Major)を選択することができます。鍵盤のキーが押されると、そのキーのコードを演奏します。
- **Custom** モードでは、カスタムコードを入力することができます。コードが入力されると、鍵盤のキーを押して演奏することができます。カスタムコードを作成するには、**Custom** フィールドでエンコーダーを押してから、エンコーダーを使用して目的のノートを選択するか、目的の鍵盤を押します。Custom コードモードでは 6 つのノートが利用可能です。
 - **Note 1:** カスタム Chord の最初のノート。
 - **Note 2:** カスタム Chord の 2 番目のノート。
 - **Note 3:** カスタム Chord の 3 番目のノート。
 - **Note 4:** カスタム Chord の 4 番目のノート。
 - **Note 5:** カスタム Chord の 5 番目のノート。

M-AUDIO

○ **Note 6:** カスタム Chord の 6 番目のノート。

- **KEY:** Smart Chord のキーを選択します。
- **Type:** コードが使用するスケール(メジャーもしくはマイナー)を選択します。
- **Voicing:** Smart Chord モードで有効な運指を選択します。

SHIFT ボタンを長押ししながら、鍵盤のキーを使用して素早くパラメーターを編集することができます。

Smart Chord に Split を設定するには、Split で Encoder を押してから、On を選択する。 スプリットが有効/オンの場合、Smart Chord は Zone のように鍵盤の特定のセクションに割り当てることができます。

First を選択すると、Smart Chord のレンジで最も低いキーを設定します。

Last を選択すると、Smart Chord のレンジで最も高いキーを設定します。

注意: Smart Chord Edit モードで First もしくは Last のノートが選択された場合、鍵盤のキーを押して入力することができます。これによりエンコーダーを使用せずに素早く選択することができます。

Channel を選択すると、Smart Chord の Split が送信するチャンネルを設定します。

- **Split:** Split が On に設定されている場合、Chord は Zone のように鍵盤の特定のセクションに割り当てることができます。
- **Chan:** Split が有効な場合、Smart Chord はこのチャンネルからメッセージを送信します。グローバルチャンネル(Global)か特定のチャンネル(Channel 1-16)を選択します。

Smart Scale ボタン

このボタンが押されると、キーボードの内蔵 Smart Scale 機能が有効になります。現在のスケールは選択中の Smart Scale Edit で選択中の Smart Scale 設定に基づきます。Smart Scale モードが有効な場合、選択中の Key と Scale 設定に基づいたキーのみを演奏します。この機能は DAW、PRESET の 2 つのキーボードのモードで使用可能です。

Smart Scale の設定を編集するには、SHIFT と SCALE を押します。

- **KEY:** Smart Scale のキーを選択します。
- **SCALE:** Smart Scale で使用するスケールを選択します。Scale でエンコーダーを押して、次の中から適用したいスケールを選択します—Chromatic、Major、Dorian、Phrygian、Lydian、Mixolydian、Minor Harmonic、Locrian、Minor、Minor Melodic、Pentatonic Major、Pentatonic Minor、Blues、Altered Dominant、Diminished Whole Half、Whole Tone。

Smart Scale で Split を設定するには、Split でエンコーダーを押して、On を選択します。Split が有効/ON の場合、Smart Scale は Zone のように鍵盤の特定のセクションに割り当てることができます。

First を選択すると、Smart Scale のレンジで最も低いキーを設定します。

Last を選択すると、Smart Scale のレンジで最も高いキーを設定します。

注意: Smart Scale Edit モードで First もしくは Last のノートが選択された場合、鍵盤のキーを押して入力することができます。これによりエンコーダーを使用せずに素早く選択することができます。

Channel を選択すると、Smart Scale の Split が送信するチャンネルを設定します。

Global Settings

SHIFT および MODE/GLOBAL ボタンを押して Hammer 88 Pro の Global settings に入ります。

Global Settings は選択中の Preset に関わらず、Hammer 88 Pro の全体的な操作に影響します。

下記の設定が利用可能です：

- Global Channel **“G.CHAN”**：このメニューでは、グローバルチャンネル(Channel 1-16)を設定できます。他の操作やゾーンの Channel の設定が Global になっている場合、このチャンネルを使用して送信されます。
- Program **“PROG.”**：このフィールドで **Send Settings** をクリックした時に送信されるプログラムチェンジメッセージのナンバーを決定します。
- MSB **“MSB”**：このフィールドで **Send Settings** をクリックした時に送信される Bank MSB (Most Significant Byte) メッセージのナンバーを決定します。

注意： Bank LSB もしくは Bank MSB ナンバーは、この後プログラムチェンジメッセージを送信するまでは、何も影響を与えないことがあります。

- LSB **“B.LSB”**：このフィールドで **Send Settings** をクリックした時に送信される Bank LSB (Least Significant Byte) メッセージのナンバーを決定します。

注意： Bank LSB もしくは Bank MSB ナンバーは、この後プログラムチェンジメッセージを送信するまでは、何も影響を与えないことがあります。

- Octave **“KEY OCT”**：このフィールドで現在の鍵盤のオクターブ位置を決定します。

注意： キーボード全体のオクターブおよびトランスポジションはゾーンのオクターブやトランスポジションからは独立していますが、これらはキーによって送信されるノートに影響します。

- Transpose **“KEY TRAN”**：このフィールドで現在の鍵盤全体のトランスポジション(-12 から 12)を決定します。

注意： キーボード全体のオクターブおよびトランスポジションはゾーンのオクターブやトランスポジションからは独立していますが、これらはキーによって送信されるノートに影響します。

- Keybed Sensitivity **“K. SENS”**：このフィールドで鍵盤のペロシティ感度(特定のペロシティでノートを生成するために必要な力の量)を決定します。他の設定については、[付録 > ペロシティカーブ > キーボード感度](#)を参照してください。
- Pad Sensitivity **“PD SENS.”**：このフィールドでパッドのペロシティ感度を(特定のペロシティでノートを生成するために必要な力の量)設定します。他の設定については、[付録 > ペロシティカーブ > キーボード感度](#)を参照してください。
- 5-Pin MIDI Output Messages **“MIDI OUT”**：このフィールドでリアパネルの 5-pin MIDI DIN コネクタから、Hammer 88 Pro の操作子、パッド、および鍵盤からの MIDI データのみを送信する(**Keys**)か、USB 接続した PC から受信した MIDI データのみを送信する(**USB**)か、Hammer 88 Pro の操作子、パッド、キー、および接続した PC からの

MIDI データを送信する(Keys/USB)か、もしくは MIDI データを送信しない (Off)、の中から選択します。

- **Operating System:** 使用するコンピューターの OS (PC もしくは macOS) を設定します。これによって DAW のショートカットが正常に機能するようにします。
- **Chord Mode:** このフィールドで Chord Mode が有効な場合、キー、パッド、もしくはパッドとキー両方に対して Chord Mode を有効にするか設定します。

付録

ペロシティカーブ

キーボード感度

キーボードのペロシティカーブを選択するとディスプレイに K.SENS. と表示されます。

Hammer 88 Pro ディ スプレイ 説明

Low	低感度の設定で、ほぼ低いペロシティでノートを演奏する際に便利です。
Medium	中感度の設定(デフォルト)で、平均的な力の強さでノートを演奏する際に便利です。
High	高感度の設定で、ほぼ高いペロシティでノートを演奏する際に便利です。
Linear	これは直線に近いカーブです。ノートのペロシティは鍵盤を弾く力の強さに比例します。
Fixed 64	全てのノートのペロシティが 64 に固定されます。
Fixed 100	全てのノートのペロシティが 100 に固定されます。
Fixed 127	全てのノートのペロシティが 127 に固定されます。

パッド感度

パッドのベロシティカーブを選択するとディスプレイに **PD.SENS.**と表示されます。

Hammer 88 Pro ディ スプレイ 説明

Low	低感度の設定で、ほぼ低いベロシティでノートを演奏する際に便利です。
Medium	中感度の設定(デフォルト)で、平均的な力の強さでノートを演奏する際に便利です。
High	高感度の設定で、ほぼ高いベロシティでノートを演奏する際に便利です。
Linear	これは直線に近いカーブです。ノートのベロシティはパッドを押す力の強さに比例します。
Fixed 64	全てのノートのベロシティが 64 に固定されます。
Fixed 100	全てのノートのベロシティが 100 に固定されます。
Fixed 127	全てのノートのベロシティが 127 に固定されます。
Fixed 64,127	全てのノートのベロシティがパッドを押す力の強さに応じて、 64 か 127 になります。
Fixed 64, 100, 127	全てのノートのベロシティがパッドを押す力の強さに応じて、 64 、 100 、もしくは 127 になります。
Fixed 32, 64, 100, 127	全てのノートのベロシティがパッドを押す力の強さに応じて、 32 、 64 、 100 、もしくは 127 になります。

パッド LED カラーリスト

NAME	COLOR
OFF	LED OFF
CHAR.	CHARTREUSE
GREEN	GREEN
AQUA	AQUAMARINE
CYAN	CYAN
AZURE	AZURE
BLUE	BLUE
VIOLET	VIOLET
MAGENTA	MAGENTA
ROSE	ROSE
RED	RED
ORANGE	ORANGE
YELLOW	YELLOW
WHITE	WHITE

プリセットリスト

1. MPC PI (MPC Plugin)	9. Preset
2. Hybrid (Hybrid 3)	10. Preset
3. MiniGrd (MiniGrand)	11. Preset
4. Velvet	12. Preset
5. Xpand (Xpand!2)	13. Preset
6. Vacuum	14. Preset
7. Boom	15. Preset
8. DB33	16. Preset

DAW リスト

1. Pro Tools	7. Logic
2. MPC (MPC Beats)	8. Bitwig
3. Ableton (Ableton Live)	9. Garage (Garage Band)
4. Studio One	10. Reaper
5. Reason	11. FL St. (FL Studio)
6. Cubase	12. User DAW

MIDI ポート

Oxygen Pro Output Ports

Messages	Windows	macOS
Preset Mode Controls, Keys, Pads, Timing Clock Messages	Hammer 88 Pro ##	USB MIDI
5-Pin MIDI DIN Out	MIDIIN2 (Hammer 88 Pro ##)	MIDI DIN
DAW Mode Controls, Pads	MIDIOUT3 (Hammer 88 Pro ##)	MACKIE/HUI
Preset Editor	MIDIOUT4 (Hammer 88 Pro ##)	EDITOR

Oxygen Pro Input Ports

Messages	Windows	macOS
Timing Clock Messages In	Hammer 88 Pro ##	USB MIDI
5-Pin MIDI DIN In	MIDIIN2 (Hammer 88 Pro ##)	MIDI DIN
DAW LED control, and Mackie/HUI Heartbeat Messages	MIDIIN3 (Hammer 88 Pro ##)	MACKIE/HUI
Preset Editor	MIDIIN4 (Hammer 88 Pro ##)	EDITOR

Available Shortcut ASCII Messages

KEY

0	0	j	j	F2	F2
1	1	k	k	F3	F3
2	2	l	l	F4	F4
3	3	m	m	F5	F5
4	4	n	n	F6	F6
5	5	o	o	F7	F7
6	6	p	p	F8	F8
7	7	q	q	F9	F9
8	8	r	r	F10	F10
9	9	s	s	F11	F11
a	a	t	t	F12	F12
b	b	u	u	BckSP	BK SPACE
c	c	v	v	Return	RETURN
d	d	w	w	Up	UP
e	e	x	x	Down	DOWN
f	f	y	y	Left	LEFT
g	g	z	z	Right	RIGHT
h	h	Spacebar	SPAC E	tab	TAB
i	i	F1	F1	Comma	COMMA

KEY

.	.	Num 1	NUM. 1
'	'	Num 2	NUM. 2
[[Num 3	NUM. 3
]]	Num 4	NUM. 4
¥	¥	Num 5	NUM. 5
/	/	Num 6	NUM. 6
`	`	Num 7	NUM. 7
;	;	Num 8	NUM. 8
-	-	Num 9	NUM. 9
+	+	Num 0	NUM. 0
*	*	No Message	NO MSG.
=	=		
ESC	ESC		
Insert	INSERT		
Home	HOME		
Page Up	PAGE UP		

Delete	DELETE	
End	END	
Page	PG	
Down	DOWN	

KEY MODIFIERS – Windows

No Message	NO MSG.	W – Ctrl and ALT	CTL ALT
W – SHIFT	SHIFT	W – Win and ALT	WIN ALT
W – CTRL	CTRL	W – SHIFT, Ctrl, and Win	CTL WIN
W – Win	WIN.	W –SHIFT, Ctrl and Alt	S CTL ALT
W – Alt	ALT	W – SHIFT, Win, and Alt	S WIN ALT
W – SHIFT and CTRL	SH. CTL	W – Ctrl, Win, and Alt	C WIN ALT
W – SHIFT and Win	SH. WIN		
W – SHIFT and Alt	SH. ALT		
W – CTRL and Win	CTL WIN		

KEY MODIFIERS – macOS

No Message	NO MSG.	M – CTRL and Option	CTRL OPT
M – SHIFT	SHIFT	M – CMD and OPT	CMD OPT
M – Ctrl	CTRL	M – SHIFT, Ctrl, and CMD	S CTL CD
M – Command	COMMND	M – SHIFT, CTRL, and OPT	S CTL OPT
M – CMD	CMD	M – SHIFT, OPT, and CMD	S OPT CD
M – Option	OPTION	M – CTRL, CMD, and OPT	C CMD OP
M – SHIFT and Command	SH. COMD	M – SHIFT, CTRL, and OPT	S CTL OPT
M – SHIFT and OPT	SH. OPT	M – SHIFT, OPT, and CMD	S OPT CD
M – SHIFT and CMD	SH. CMD	M – CTRL, CMD, and OPT	C CMD OP
M – CTRL and CMD	CTRL CMD		

ファクトリーリセット

Hammer 88 Pro の操作子、プリセット、および DAW を工場出荷状態に戻すには、いったん電源を切ってから、**Octave +** および **-** を押しながら電源を入れてください。

技術仕様

電源	9V DC, 800 mA
サイズ (W x D x H)	142.2 x 28.2 x 12.7 cm
重量	18.5 kg

※仕様は予告なしに変更になる場合があります。

商標とライセンス

M-Audio は、合衆国およびその他の国で登録された inMusic Brands、Inc. の商標です。

AAX、Avid、および Pro Tools は、アメリカ合衆国あるいはその他の国における Avid Technology、Inc.の登録商標または商標です。

Ableton は Ableton AG の商標です。

Apple Store、macOS、Macintosh、および iPad は Apple Inc.の商標で、米国およびその他の国において Apple Inc.の登録商標です。

Windows は Microsoft Corporation の登録商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Kensington は、ACCO Brands の登録商標です。

その他すべての製品名または会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

m-audio.com